

2 事業



令和元年度 博物館・市民会館事業カレンダー

2019年

<p>●4月</p> <p>6日(土) 市民コレクション展「日本刀～古刀から現代刀まで～」開始(～5月27日)</p> <p>13日(土) コレクターによる展示解説会</p> <p>20日(土) オープンサタデークラブ「いけ花講座」開始(2月1日まで、全13回)</p> <p>20日(土) オープンサタデークラブ「日本舞踊講座」開始(2月1日まで、全12回)</p> <p>21日(日) 刀剣講演会①「日本刀を造る」</p> <p>27日(土) 「刀剣！なんでも相談会」</p>
<p>●5月</p> <p>5日(日祝) 子ども体験教室「古代のアクセサリ－・勾玉をつくろう！」(・8月1日・3日)</p> <p>6日(月祝) 刀剣講演会②「日本刀を研ぎ澄ます」</p> <p>10日(金) 野田市立中央小学校特別支援学級来館</p> <p>11日(土) 「刀剣！なんでも相談会」</p> <p>15日(水) 野田市立第二中学校職場体験1名受入(～17日)</p> <p>28日(火) 博物館展示替えのため休館(～6月7日)</p>
<p>●6月</p> <p>8日(土) 企画展「あなたの野田を見つけよう」開始(～9月23日)</p> <p>19日(水) 野田市立南部中学校職場体験6名受入(～21日)</p> <p>20日(木) 野田市立北部中学校職場体験5名受入(～21日)</p> <p>22日(土) 史跡探訪～会員とともにまちなかに遺る史跡を歩こう～ 第1回：「桜台を歩く」</p>
<p>●7月</p> <p>6日(土) はじめて読む古文書</p> <p>7日(日) 呈茶席</p> <p>21日(日) 寺子屋講座・第169回芸道文化講座「いにしへの武術に学ぶ、身体の動かし方」</p> <p>22日(月) 野田市立中央小学校1～6年生来館(夏休み学び教室)</p> <p>27日(土) 博物館実習4名受入(～8月4日)</p> <p>31日(水) 佐倉市立根郷公民館より児童が来館</p>
<p>●8月</p> <p>7日(水) 拓本を体験してみよう</p> <p>18日(日) 寺子屋講座・第169回まちの仕事人講話「人生最高の一日のために～結婚式のウラ側、のぞいてみませんか～」</p> <p>31日(土) 篆刻を体験してみよう</p>
<p>●9月</p> <p>13日(金) 野田市立中央小学校特別支援学級来館</p> <p>15日(日) 寺子屋講座・第170回まちの仕事人講話「表具師が語る、茶道と表具の深～い関係～文化財修復ってどんなお仕事？～」</p> <p>16日(月祝) 史跡探訪～会員とともにまちなかに遺る史跡を歩こう～ 第2回：「野田人車鉄道の跡を歩く」</p> <p>24日(火) 博物館展示替えのため休館(～10月4日)</p>
<p>●10月</p> <p>5日(土) 特別展「郷土史へのまなざし～博物館誕生のものがたり～」開始(～1月20日)、オープニング・レセプション</p> <p>10日(木) 柏市立田中小学校3年生来館</p> <p>12日(土) 台風19号の影響により臨時休館(～10月13日)</p> <p>20日(日) 寺子屋講座・第170回芸道文化講座「ドール文化の現在～ドールセラピーが日本を救う～」</p> <p>27日(日) 学芸員による展示解説(・11月9日・17日・12月1日・14日・1月18日)</p> <p>31日(木) 野田市立中央小学校特別支援学級来館</p>

●11月

- 17日(日) 野田市子供会育成連絡協議会より 市内小学生および中学生が来館
24日(日) 寺子屋講座・第171回芸道文化講座「クイズで野田市の自然・文化・歴史を知ろう！」
28日(木) 博物館懇談会(第1回)

●12月

- 8日(日) ミュージアムトーク「博物館設立よもやま話」
15日(日) 寺子屋講座・第172回芸道文化講座「楽しい物理実験 -196℃の世界」
22日(日) 土器の拓本しおり作り／ちょっと昔の暮らしを体験

2020年

●1月

- 5日(日) 寺子屋講座・第173回芸道文化講座「凧に魅せられて～世界の中の日本の凧～」
20日(月) 野田市立宮崎小学校3年生来館
21日(火) 博物館展示替えのため休館(～1月31日)

●2月

- 1日(土) 企画展「野田に生きた人々 その生活と文化 2020」開始(～2月28日)
1日(土) 収蔵品特別展示(前期)「1964年東京オリンピック関係資料」(～2月28日)
6日(木) 野田市立福田第一小学校3年生来館
9日(日) 呈茶席
9日(日) 寺子屋講座・第171回寺子屋講座まちの仕事人講話「文化財をのこす・まもる仕事～ビリケンさんの修復！文化財を食べる虫？～」
14日(金) クラブフェスタ2020(～16日)
29日(土) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の方針により博物館・市民会館共に臨時休館

新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郷土博物館・市民会館は2月29日から臨時休館となり、3月30日まで開催予定であった企画展「野田に生きた人々 その生活と文化 2020」は再開できないまま閉幕を迎えた。これに伴い、学芸員による展示解説が中止となったほか、下表のとおり郷土博物館・市民会館における各種イベントが中止となり、入館者数や団体見学者数が減少するなどの影響を受けた。

講座やコンサートの準備に多くの時間を割いていただいたにも関わらず、予定されていた多くの事業が中止となってしまったことは大変残念だが、講師の方々や各団体とは引き続き連携を図っていきたい。

○新型コロナウイルス感染症対策によって中止となった事業

事業名	実施予定日
企画展「野田に生きた人々 その生活と文化 2020」	2月1日(土)～3月30日(月) ※臨時休館期間中に閉幕
収蔵品特別展示(後期)「1964年東京オリンピック関係資料」	3月1日(月)～30日(月)
企画展関連事業：学芸員による展示解説	2月29日(土)
「郷土の人物について知ろう」	2月29日(土)
野田市七光台学童保育児童来館	3月22日(日)
『チバミュージアムフェスタ 2020～千葉県立美術館・博物館展覧会～』への協力 3館共催パネル巡回展 「オリンピック・パラリンピック」と千葉のスポーツ史	関宿総合公園体育館 3月5日(木)～18日(水) 野田市市民会館 3月20日(金)～30日(月) 野田市春風館道場 4月3日(金)～17日(金)
オープンサタデークラブ「いけ花講座」 オープンサタデークラブ「日本舞踊講座」	3月7日(土)
寺子屋講座・第172回まちの仕事人講話 「人生いつも挑戦～新しい出会い、それが運命を変え人生を築くる～」 講師：中村典子氏(食文化・料理研究家)	3月8日(日)
第38回ミュージアム・コンサート「山中直治コンサート」 出演：山中直治を歌う会	3月14日(土)
親と子の茶道講座「飲もう！たてよう！お抹茶体験」 講師：野田市茶道協会	3月20日(金祝)
キャリアデザイン講演会 「私と野田市のキャリアデザイン～キャリアデザインと地域づくり～」 講師：笹川孝一氏(法政大学キャリアデザイン学部教授)	3月28日(土)
第39回ミュージアム・コンサート 「みて、きいて、うたって！楽しい春の音楽会」 出演：ローズコーラス	3月29日(日)

資料収集・保管・整理事業

事業区分：委託事業

新収蔵資料

番号	資料名	点数	収集方法	寄贈者	受領日
1	数字時計	1	寄贈	渡邊正克氏	5月9日
2	昆虫標本	4	寄贈	志賀一朗氏	6月10日
3	茂木御本家造庭略図	2	寄贈	鎌武ミエ氏	6月26日
4	モノクロテレビ 等	21	寄贈	関一氏	7月8日
5	和服裁縫大全集 等	24	寄贈	飯田和子氏	11月25日
6	植物標本	987	寄贈	戸邊はるみ氏	12月9日
7	鉄瓶(キノエネ醤油)	1	寄贈	松本富夫氏	12月16日
8	野田・栗林家教育関係資料 等	40	寄贈	栗林真人氏	12月16日
9	鬼瓦(キッコーマン第一給水所) 等	4	寄贈	キッコーマン食品株式会社	2月20日
10	消防半纏 等	12	寄贈	小久保直一氏	3月4日
11	千葉県立野田高等学校ポストカード 等	11	寄贈	大坂圭子氏	3月31日
12	手回し洗濯機	1	寄贈	杉原靖氏	3月31日
13	函館公園真景縮図	1	購入		5月9日
14	少年工藝文庫第九編 汽船の巻	1	購入		6月10日
15	山へ海へ	1	購入		6月10日
16	野田醤油株式会社うちわ(キッコーマン醤油)	2	購入		6月10日
17	境町沿革小誌	1	購入		6月26日
18	新校増訂下総國輿地全圖(弘化5年版)	1	購入		7月8日
19	野田市全図(昭和25年版)	1	購入		7月8日
20	終戦時資料 等	2	購入		7月8日
21	産業之函館	1	購入		7月22日
22	函館市勢要覧	1	購入		8月16日
23	高橋弘明木版画「せきやど」	1	購入		11月1日
24	日本名勝写生紀行 第二巻	1	購入		11月13日
25	田舎荘子	10	購入		11月13日
26	名家書画春秋帖	1	購入		12月26日
27	下総國葛飾郡御料私領村々悪水落中利根川落口坎樋 伏込候場所見分仕候義二付申上候書付	1	購入		1月20日
28	野田部落	30	購入		3月4日
29	銚子醤油案内資料	8	購入		3月24日
30	市郡変称東京全図・東京近郊名勝独案内	1	購入		3月31日
31	錦絵・東叡山文殊楼焼討之図	1	購入		3月31日
32	朴庵 孔雀図	1	購入		3月31日
33	前掛け(岩崎醤油株式会社、他)	8	購入		3月31日
34	醤油ラベル類	10	購入		3月31日

修繕・修復等

○高島野十郎作油絵(御苑の大樹)1点(資料番号:5123)について、前年度の試料片調査等に続き、ワニス層に付着していた汚れの洗浄などを行った(委託先:有限会社修復研究所21)。

○明和九年製図西関宿1点(資料番号9015-11「関宿向下河岸喜多村家文書」のうち)について、本紙の補修作業を行った上で軸装に仕立てた。あわせてデジタルデータからレプリカを作成した(委託先:株式会社彫美堂)。

○醤油工場図面1点(資料番号9352-19「茂木七郎右衛門家醤油醸造関係資料」のうち)について、本紙の補修作業を行った上で軸装に仕立てた。あわせてデジタルデータからレプリカを作成した(委託先:株式会社彫美堂)。



修復後の御苑の大樹
(資料番号 5123)

資料の整理及びデータ入力

クラウド型データベースを使用した資料情報の再整理を進めた。古文書や古写真等の資料約 720 点についてデジタルカメラによる写真撮影および採寸を行い、昨年度撮影分も含めた資料写真のデータベースへの登録作業を進めた。

また、ホームページ上での資料公開に向けた準備を進め、約 87 件の資料情報及び人物情報について資料データベースで公開・更新を行った。

調査研究事業

事業区分：委託事業

地域文化の調査研究

○特別展「郷土史へのまなざし～博物館誕生のものがたり～」に関する調査 財団法人興風会図書館(現・野田市立興風図書館)や野田地方文化団体協議会等の活動について調査を行った。

キャリアデザインの調査研究

○特別展「郷土史へのまなざし～博物館誕生のものがたり～」にともなう市民のキャリア調査 元財団法人興風会図書館長・佐藤眞のキャリアについて調査を行うと共に、その内容をパネル化して展示した。

研究報告等の執筆 ※勤務時間外の活動を含む。

○寺内健太郎

・「史跡探訪&地名探訪 あなたの野田を見つける散歩―桜台の史跡と小字を訪ねる―」(『かつしか台地』第 58 号、令和元年秋季発行)

○黒田千尋

・「水戸徳川家は仏教嫌いか―常福寺との関係を例に―」(『浄土宗七祖聖岡と関東浄土教』神奈川県立金沢文庫、令和元年 5 月)

・所蔵資料紹介「史料から考える念仏講―窪田正一郎家文書を手掛かりに―」(『野田市郷土博物館・市民会館 年報・紀要 第 12 号 2018 年度』令和 2 年 3 月)

公開事業

事業区分：委託事業

インターネット上での資料公開

ホームページ上での資料公開に向けた準備を進め、約87件の資料について資料データベースで公開・更新を行った。また、令和元年度博物館懇談会委員名簿、第1回博物館懇談会資料及び議事録を公開した。

市民つどいの中での所蔵図書の公開

例年どおり、図録及び郷土資料図書を閲覧に供し、キャリアデザインやまちづくり、博物館学に関する書籍を購入・寄贈などの手段により収集し、市民つどいの中に配架した。学芸員が対面、電話、メールによるレファレンスサービスを随時行った。また、データ化されていない所蔵図書についてもデータの入力作業を進めた。

フィルムコミッション

ドラマの撮影1件が実施された。また、撮影を希望する団体に対して情報提供を随時行い、現地視察に対応した。

資料閲覧

展示していない収蔵資料のうち、閲覧の申請があった6件について資料を収蔵庫から出し、閲覧に供した。

資料館外利用

虎綱(資料番号 652)	1点	4月1日~令和2年3月31日
貸出先：松戸市立博物館	目的：常設展での展示のため	
関東醤油番付(天保11年版)(資料番号 219) 等	2点	10月30日~12月19日
貸出先：船橋市飛ノ台史跡公園博物館	目的：第11回千葉県北西部地区文化財展での展示のため	

画像の提供等

当館所蔵資料や施設の写真等31件の申込について、他機関等への画像(ポジ、データ)の提供等を行った。また、施設外観や個人による人物を主な被写体とする撮影(コスプレ撮影等)利用のため296件の利用申込を受けた。

展示事業

事業区分：委託事業

常設展示

野田に生きた人々の生活と文化

場 所：博物館 2 階展示室

1. 展示内容

対象とする時代を醤油醸造業が本格的になる江戸時代中期(18世紀)から昭和30年代までとし、野田の特徴や主要コレクションを(1)江戸時代、(2)醤油づくりの道具と明治時代、(3)企業城下町の誕生と樽作り、(4)昭和期の農業と生活というテーマで紹介している。

本常設展示は平成22年度にリニューアルをしたものである。本年度は資料と展示状態のメンテナンスなどを行った。また、市民団体「野田もの知り検定企画実行委員会」の提案を受け、常設展を素材としたクイズ問題集を表示するためのタッチパネル式端末の設置を行った(関連寄稿あり)。



収蔵品特別展示

1964年東京オリンピック関係資料

期 間：【前期】2月1日(土)～28日(金)

【後期】中止

※前期が2月1日(土)～29日(土)、後期3月1日(日)～30日(月)で一部資料の展示替えを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止のため臨時休館に伴い2月28日(金)で終了。

会 場：博物館 1 階展示室

1. 展示内容

2020年に東京オリンピックが開催される予定であったことを受け、前回1964年東京オリンピックにおいて、陸上の競技役員を務めた市民の遺族から寄贈された関係資料を企画展「野田生きた人々 その生活と文化 2020」の会期中に展示した。前・後期で一部資料の入れ替えを行う予定で、前期に競技役員の公式ユニフォームのほか、国際陸上競技連盟やオリンピック東京大会組織委員会から出された競技役員の認定証や委嘱状を展示した。後期は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため臨時休館に伴い中止となった。



展示風景

【前期展示資料】

東京オリンピック競技役員公式ユニフォーム(資料番号 8079)

競技役員認定証(資料番号 8098)

競技役員委嘱状(資料番号 8102)

展示事業

市民コレクション展

日本刀～古刀から現代刀まで～

会 期：4月6日(土)～5月27日(月)

会 場：博物館1階展示室

開館時間：9時～17時

入館料：無料

入館者：9,992人

事業区分：委託事業



1. 目的

本企画展では、市民コレクション展として、野田市美術刀剣会の会員が所有する日本刀と刀装具を展示した。コレクションを通じて刀剣の魅力を知っていただくとともに、総合的な日本文化である刀剣を次世代に引き継ぐ取り組みとして、同会が当館にて行ってきたこれまでの日本刀展や日頃の活動を紹介した。

2. 展示内容

昭和41年に発足された野田市美術刀剣会(以下、刀剣会とする)は、当館や千葉県立関宿城博物館でこれまでに10回を超える「日本刀展」を開催してきた。日本刀の解説は専門用語が多く難解なため、今回は別途配布している展示目録を大幅に改訂し、簡易的な用語解説も掲載した。

(1)古刀

平安時代中期から安土桃山時代にかけて作られた日本刀である古刀のうち、特別重要刀剣2振と重要刀剣10振も含む、平安時代から天正期の刀身と拵を展示した。

(2)新刀

慶長期から安永期にかけて作られた日本刀である新刀のうち、慶長期から享保期の刀身と拵を展示した。

(3)新々刀

天明期から明治9年にかけて作られた日本刀である新々刀のうち、天保期から明治期の刀身と拵を展示した。

(4)刀装具

刀装の各部をパネルで説明し、意匠の凝らされた刀装具・拵を展示した。

(5)槍・薙刀

槍と薙刀の刀身と拵を展示した。

(6)現代刀

昭和58年に作られた現代刀を1振展示した。

(7)野田市美術刀剣会の歩み

同会の活動を写真や年表で紹介するとともに、これまでに開催してきた日本刀展のポスターや写真を展示した。

展示資料一覽

番号	資料名	(銘)	所蔵者	備考 (年代)	コーナー
1	太刀	無銘 (古伯耆)	個人蔵	平安時代 (大治頃)	古 刀
2	太刀	無銘 (伝吉用)	個人蔵	鎌倉時代 (文永頃)	
3	刀	無銘 (綾小路)	個人蔵	鎌倉時代 (文永頃)	
4	刀	無銘 (手搔)	個人蔵	鎌倉時代 (正応頃)	
5	刀	無銘 (行光)	個人蔵	鎌倉時代 (嘉元頃)	
6	刀	無銘 (二王)	個人蔵	鎌倉時代 (正中頃)	
7	太刀	実阿作	個人蔵	鎌倉時代 (嘉暦頃)	
8	刀	無銘 (実阿)	個人蔵	鎌倉時代 (嘉暦頃)	
9	脇差	無銘 (伝左弘安) (附) 正徳四年本阿弥光忠折紙	個人蔵	南北朝時代 (正平頃)	
10	短刀	長谷部国信	個人蔵	南北朝時代 (延文頃)	
11	刀	無銘 (兼長)	個人蔵	南北朝時代 (貞治頃)	
12	脇差	備州長船貞弘 永和三年二月日	個人蔵	南北朝時代 (永和 3 年)	
13	太刀	備州長船 <small>三三三</small> (伝成家) 永徳元年十月日	個人蔵	南北朝時代 (永徳元年)	
14	脇差	無銘 (志津) (金象嵌銘 直江志津)	個人蔵	南北朝時代 (永徳期)	
15	脇差	宝寿	個人蔵	南北朝時代 (至徳期)	
16	太刀	光重	個人蔵	南北朝時代 (応永期)	
17	太刀	備州長船康光 応永廿四年二月日	個人蔵	室町時代 (応永 14 年)	
18	脇差	信国 (左衛門尉)	個人蔵	室町時代 (応永 15 年頃)	
19	脇差	備州長船清光 応永十九年六月日	個人蔵	室町時代 (応永 19 年)	
20	太刀	備州長船修理亮盛光 応永廿八年二月日	個人蔵	室町時代 (応永 28 年)	
21	短刀	備州長船康光 応永卅一年二月	個人蔵	室町時代 (応永 31 年)	
22	脇差	備州長船利光 応永卅三年八月日	個人蔵	室町時代 (応永 33 年)	
23	脇差	備州長船盛光 応永卅三年二月日	個人蔵	室町時代 (応永 33 年)	
24	刀	波平安重	個人蔵	室町時代 (応永頃)	
25	太刀	備州長船祐光 康正三年二月日	個人蔵	室町時代 (康正 3 年)	
26	短刀	無銘 (宇多国宗)	個人蔵	室町時代 (文明頃)	
27	刀	家次作	個人蔵	室町時代 (文明頃)	
28	薙刀	包長 (末手搔)	個人蔵	室町時代 (長享頃)	
29	刀	盛清 (金剛兵衛)	個人蔵	室町時代 (明応頃)	
30	刀	濃州関住藤原介右衛門尉兼法作	個人蔵	室町時代 (明応頃)	
31	刀	兼重 (関)	個人蔵	室町時代 (永正頃)	
32	刀	兼吉	個人蔵	室町時代 (永正頃)	
33	太刀	備州長船祐定 大永二年八月日	個人蔵	室町時代 (大永 2 年)	
34	槍	無銘 (金房)	個人蔵	室町時代 (弘治頃)	
35	脇差	関住兼定	個人蔵	室町時代 (永禄頃)	
36	刀	九州肥後国源高安	個人蔵	室町時代 (元龜頃)	
37	脇差	(折返銘) 兼元	個人蔵	室町時代 (天正頃)	
38	槍	下坂八郎左衛門作	個人蔵	室町時代 (天正頃)	
39	短刀	陸奥守大道 天正十二年二月日	個人蔵	室町時代 (天正 14 年)	
40	槍	伊賀守金道 (初代)	個人蔵	江戸時代 (慶長頃)	
41	薙刀	越中守正俊	個人蔵	江戸時代 (慶長 5 年頃)	
42	刀	肥前国住人士佐守藤原忠吉作	個人蔵	江戸時代 (寛永頃)	
43	脇差	肥前国住藤原忠廣	個人蔵	江戸時代 (寛永頃)	
44	刀	肥前国住武蔵大掾藤原忠 (以下切)	個人蔵	江戸時代 (寛永頃)	
45	刀	和泉守藤原国貞	個人蔵	江戸時代 (寛永頃)	
46	脇差	和泉守藤原国貞	個人蔵	江戸時代 (寛永頃)	
47	刀	賀州住藤原家忠	個人蔵	江戸時代 (寛永頃)	

古
刀

新
刀

番号	資料名	(銘)	所蔵者	備考(年代)	コーナー	
48	刀	肥前住藤原国廣	個人蔵	江戸時代(慶安頃)	新刀	
49	刀	丹波守吉道 大和守吉道	個人蔵	江戸時代(承応頃)		
50	槍	河内守国助(二代)	個人蔵	江戸時代(万治頃)		
51	薙刀	武州下原住廣重(刻印・大)	個人蔵	江戸時代(万治頃)		
52	脇差	秦光代	個人蔵	江戸時代(寛文頃)		
53	刀	一肥前国出羽守行廣以真鍛作(初代)	個人蔵	江戸時代(寛文頃)		
54	刀	一肥前国住行廣以真鍛作(初代)	個人蔵	江戸時代(寛文頃)		
55	脇差	賀州住藤原家忠	個人蔵	江戸時代(寛文頃)		
56	刀	伊賀守源包道	個人蔵	江戸時代(寛文頃)		
57	脇差	越前守助広	個人蔵	江戸時代(延宝頃)		
58	刀	肥前国河内守藤原正廣 延宝三年八月日	個人蔵	江戸時代(延宝3年)		
59	脇差	栗田口近江守忠綱	個人蔵	江戸時代(延宝頃)		
60	刀	近江守源久道	個人蔵	江戸時代(元禄頃)		
61	刀	土肥真了	個人蔵	江戸時代(享保頃)		
62	刀	於東都加藤綱俊造 天保九年二月日	個人蔵	江戸時代(天保9年)		
63	脇差	応小峯弘需綱俊造 天保九年八月日	個人蔵	江戸時代(天保9年)		
64	刀	無銘(寿命)	個人蔵	江戸時代(嘉永頃)	新々刀	
65	太刀	水府住祐光作之 安政七年二月日 至靈至宝 忠義為鋒 氷刃吹毛 麴麴屏跡形蹤藏宝 氣貫天穹	個人蔵	江戸時代(安政7年)		
66	脇差	備前介宗次作之 応正木利啓需 万延元年八月日	個人蔵	江戸時代(万延元年)		
67	短刀	摂陽住月山貞吉造 万延二年二月吉日	個人蔵	江戸時代(万延2年)		
68	刀	浪速金城辺住岩井歡司信連作之 文久元年二月日 両車土壇切手 山田周司	個人蔵	江戸時代(文久元年)		
69	脇差	備前介宗次 文久元年八月日	個人蔵	江戸時代(文久元年)		
70	刀	岩井鬼晋磨源正俊 文久二年二月日作之	個人蔵	江戸時代(文久2年)		
71	脇差	於江府長寿齋綱俊 長運齊是俊 文久元年八月日	個人蔵	江戸時代(文久元年)		
72	刀	備前介藤原宗次 慶応三年五月日	個人蔵	江戸時代(慶応3年)		
73	短刀	藤原是一作 慶應二年二月日	個人蔵	江戸時代(慶応4年)		
74	短刀	和泉守兼定 於越後国加茂造	個人蔵	明治3年~同7年頃		
75	刀	昭和五十八年七月吉日 主長政彫之 肥前国住人一吉作之 以京剣心達極限開眼為 八段位 牛島長治氏	個人蔵	昭和58年		
76	縁・頭 各1点		個人蔵			現代刀
77	目貫 1組		個人蔵			
78	柄 3点		個人蔵			
79	切羽 1組		個人蔵			
80	鐺 2点		個人蔵			
81	鍔 1点		個人蔵			
82	小柄 1点		個人蔵			
83	筭 1点		個人蔵			
84	鞘 3点		個人蔵			
85	鐺大小	無銘(加賀金工) 潜龍図大小鐺 赤胴魚子地 鋤出高彫金色絵	個人蔵			

番号	資料名	(銘)	所蔵者	備考 (年代)	コーナー
86	鐔	中村政重 (花押) 秋草群馬・波千鳥図	個人蔵		刀装 (拵) と刀装具
87	鐔	武州住赤坂 忠時作	個人蔵		
88	小柄・筭	後藤光勝 (花押) 束蘭花図二所 赤銅魚子地高彫金銀色絵	個人蔵		
89	目貫	無銘 (後藤) 寒山拾得図 金無垢地容彫	個人蔵		
90	目貫	麒麟図目貫 無銘 (京金工) 金無垢地 容彫	個人蔵		
91	小柄・筭	無銘 (京金工) 這龍図二所 赤銅魚子地 金紋	個人蔵		
92	目貫	這龍図大小目貫 無銘 (京金工) 金無垢地 容彫	個人蔵		
93	短刀拵	徳川家伝来	個人蔵		
94	脇差拵		個人蔵		
95	パネル	刀工分布図			
96	パネル	刀剣年表			
96	パネル	野田市美術刀剣会 活動年表			野田市美術刀剣会の歩み
97	写真	刀剣鑑賞会			
98	写真	刀剣！なんでも相談会			
99	写真	日本刀講座	個人提供		
100	写真	寺子屋・芸道文化講座 「日本刀鑑賞の基礎知識」			
101	写真	第6回日本刀展 会場内の様子		昭和52年	
102	写真	第6回日本刀展 施設入口風景		昭和52年	
103	写真	平成20年度市民コレクション展 「刀剣に魅せられて」		平成21年	
104	写真	平成25年度市民コレクション展 「日本刀 後世に伝えたい美と心」		平成26年	
105	ポスター	第3回日本刀展	当館蔵	昭和43年	
106	ポスター	第5回日本刀展	当館蔵	昭和49年	
107	ポスター	第8回日本刀展	当館蔵	昭和59年	
108	ポスター	第10回日本刀展	当館蔵	平成7年	
109	ポスター	平成20年度市民コレクション展 「刀剣に魅せられて」	当館蔵	平成20年	
110	ポスター	平成25年度市民コレクション展 「日本刀 後世に伝えたい美と心」	当館蔵	平成25年	
111	パネル2点	～知って得する～日本刀Q&A			

3. 関連事業

○コレクターによる展示解説会

事業区分：委託事業

実施日：4月13日(土)14時～14時30分

場 所：博物館1階展示室

参加者：40人

内 容：コレクターの野田市美術刀剣会会員による展示解説を行った。



コレクターによる展示解説会

○刀剣講演会「日本刀を造る」

事業区分：委託事業

実施日：4月21日(日)14時～15時

場 所：博物館1階展示室

参加者：49人

内 容：刀鍛冶の小澤茂範氏に作刀のお話をうかがった。

○刀剣講演会「日本刀を研ぎ澄ます」

事業区分：委託事業

実施日：5月6日(月祝)14時～15時

場 所：博物館1階展示室

参加者：39人

内 容：研ぎ師の川上陽一郎氏に研ぎを実演していただきつつ、お話をうかがった。

○刀剣！なんでも相談会

事業区分：委託事業

実施日：4月27日(土)、5月11日(土)13時～15時

場 所：市民会館 雪・月・桃の間

参加者：第1回5人、第2回6人

内 容：野田市美術刀剣会が刀剣の保存や手続きに関して、アドバイスをを行った。



4. 評価

展示内容 2013年に行った前回の日本刀展を基本的に踏襲しつつ、内容の充実を図った。展示刀剣数を前回よりも増やした他、21振の刀については拵とともに展示した。日本刀に馴染みがない来館者にも楽しんでいただくというコンセプトは前回と同様であるものの、日本刀は用語等が難しく、鑑賞に知識を要する。前回はパネルで説明を行ったが、今回は随時手元で参照できるよう、配布用の出品目録に用語解説を加え、「鑑賞の手引き」として配布を行った。また、前回に引き続き刀一振ごとに詳細な解説を設けた他、土日を中心に会長をはじめとする刀剣会の会員が展示室に滞在し、来館者への解説や交流を行った。



刀剣講演会「日本刀を研ぎ澄ます」

関連事業 日本刀文化の保存と継承という野田市美術刀剣会の趣旨を鑑み、現在も作刀の現場で活躍する方々にお話をうかがう講演会を2回企画した。1回目は作刀、2回目は研ぎをテーマとし、お話だけでなく道具などの実物も持参していただいた。また、両会とも質疑応答や懇談の機会を設け、敷居が高いと思われがちな刀剣や職人の世界を身近に感じていただけるようにした。

解説会と相談会も前回に引き続き実施した。すべての関連事業において、定員近く、あるいは定員以上の申し込みがあり、日本刀の人気を裏付ける形となった。リピート率も高く、すべてのイベントに参加した方もいらっしやった。

来館者の反応 非常に多くの来館者があり、展示アンケートに回答した人の8割がこの日本刀展を目的に来館していた。また、ツイッター等のSNSでも開催情報や感想がアップされているのが多くみられ、比較的若い世代からも多くの関心を集めていた。展示数が多かったことや、刀剣会の会員が展示室で解説をしてくれたことを喜ぶ声が多かった。

その他、来館者の感想は展覧会アンケート集計(45～48ページ)を参照。

展示事業

市民の文化活動報告展

あなたの野田を見つけよう

会 期：6月8日(土)～9月23日(月祝)

会 場：博物館1階展示室

開館時間：9時～17時

入館料：無料

入館者：8,804人

事業区分：委託事業



1. 目的

市民の文化活動報告展では、学芸員が市民グループとテーマなどを協議し、博物館と協働で展示を構成する。市内で文化的な活動を行っている市民グループに研究発表の場を提供し、新たな野田の文化の創出に寄与することを目的としている。

本企画展では、野田市域とその周辺の郷土の歴史、自然、民俗および地誌などの調査・研究を行うことを目的に、平成2年4月に設立した「野田地方史懇話会」の活動の成果を紹介する。同会は、主に外部から講師を迎えての「郷土史講座」、史跡をめぐる「史跡探訪」、会員の調査・研究成果を発表する「研究発表」を3つの柱としながら様々な活動を行ってきた。

会員たちがこれまでに学び、歩き、調べながら積み重ねてきた調査・研究の成果を紹介し、市民にとって身近な郷土の歴史や民俗について広く知ってもらうことを目的とした。

2. 展示内容

(1) 野田地方史懇話会について

懇話会の概要を知ってもらうために、団体創立の経緯や、創立当初より発行を続けている会誌『かつしか台地』について、当時の配布資料などとともに紹介した。

(2) “学ぶ”～郷土史講座・野田の歴史を聞く会～

懇話会が開催している座学系の講座について、創立当初より開催してきた「郷土史講座」の概要を紹介した。また、近年力を入れて開催しているという「野田の歴史を聞く会」のうち梶田廸子氏、中村英三郎氏の講演内容を資料とともに紹介した。

(3) “歩く”～史跡探訪～

実際に史跡を訪れることでさまざまな気づきを得られるという考えのもと、約120回にわたって開催されてきた史跡探訪から、日光東往還、野田人車鉄道、船形香取神社の御社擅御膳献上式を取り上げ、その成果を資料とともに紹介した。

(4) “調べる”～研究発表、調査プロジェクト、サークル活動～

会員が興味をもったテーマについて調べた成果を発表する「研究発表」や、同じ興味・関心をもつ会員が集まって調査を行った「道しるべ」、「筆子塔」、「地名を調べる」や、サークル活動として継続している「初級古文書解読会」、「拓本・篆刻サークル」等について、その成果をパネルなどで紹介した。

展示資料一覧

番号	資料名	所蔵者・提供者	備考（年代）	コーナー
1	パネル「懇話会の設立」			野田地方史懇話会について
2	パネル「設立の思い出～その1～」			
3	パネル「設立の思い出～その2～」			
4	写真（野田地方史懇話会設立総会の様子）3点		平成2年	
5	野田地方史懇話会設立趣意書		平成2年	
6	野田地方史懇話会（仮）規約（案）		平成2年	
7	平成2年度野田地方史懇話会事業計画		平成2年	
8	平成3年度野田地方史懇話会総会次第		平成3年	
9	第1回歴史探訪「あなたの野田を見つける」案内チラシ		平成2年	
10	第1回歴史散歩「日光東往還を訪ねて」配布資料		平成2年	
11	パネル「会長を囲んで」			
12	「会長を囲んで」配布資料			
13	パネル「会誌『かつしか台地』」			
14	野田地方史懇話会創刊準備号		平成2年	
15	会誌『かつしか台地』創刊号		平成3年	
16	『かつしか台地』題字		令和元年	
17	会誌『かつしか台地』綴り込みバインダー			
18	会誌『かつしか台地』と姉妹誌『会員のひろば』			
19	写真（万葉歌碑）		令和元年	
20	七夕馬（雌）	当館蔵（資料番号 2629）		
21	パネル「七夕馬イラスト」			
22	パネル「野田地方史懇話会の活動」			
23	パネル「野田地方史懇話会活動年表」			
24	パネル「郷土史講座」			
25	パネル「郷土史講座「野田を知る」」			
26	郷土史講座「野田を知る」の配布資料（6点）		平成2～3年	
27	パネル「野田の歴史を聞く会」			
28	パネル「堤台の位置」			
29	パネル「堤台地区の5000年」			
30	磨製石斧（北前貝塚）	当館蔵（資料番号 7122）	縄文時代	
31	貝刃（北前貝塚）	当館蔵（資料番号 7125）	縄文時代前期	
32	深鉢形土器（北前貝塚）	野田市教育委員会所蔵	縄文時代	
33	壺形土器（堤台松山遺跡）	当館蔵（資料番号 6937）	古墳時代前期	
34	写真（岡部長盛公画像）	岸和田・泉光寺提供	寛永年間	
35	伝岡部長盛公茶碗	個人蔵	江戸時代前期	
36	写真（堤台延命地藏尊）	当館撮影	平成25年	
37	堤台村地籍図（写）	個人蔵	明治10年	
38	写真（堤台八幡神社）	当館撮影	令和元年	
39	社額「八幡宮」	堤台八幡神社所蔵	江戸時代中期	
40	絵馬（日本武尊東征図）	堤台八幡神社所蔵	明治16年	
41	パネル「下河岸の思い出」			
42	写真（榊田家住宅）	当館撮影	令和元年	
43	看板「毎日早船出帆所」	個人蔵	明治期	
44	看板「内国通運会社分社」	個人蔵	明治9年	
45	看板「榊田光目業」	個人蔵	近代	
46	大福帳	個人蔵	近代	
47	写真（下河岸に停泊中の丸正丸）	個人蔵	大正中期	
48	写真（丸正丸に乗船する醤油醸造家たち）	個人蔵	大正中期	
49	写真（内国通運会社所属通運丸）	当館蔵	明治～大正期	
50	写真（榊田仁左衛門より田山彦右衛門への手紙）	個人所有／銚田市教育委員会保管	明治20年	
51	パネル「史跡探訪」			
52	パネル「史跡探訪マップ（野田市内編）」			
53	パネル「史跡探訪マップ（市外編）」			
54	パネル「日光東往還を歩く」			
55	史跡探訪の配布資料		平成24年	
56	パネル「日光東往還（起点～関宿間）ルート図」			
57	*同パネル内・写真「二川小学校付近の松並木」		昭和43年頃	
58	*同パネル内・写真「中里宿」	個人提供	明治～大正期	
59	パネル「山崎宿」			

野田地方史懇話会について

学
ぶ

歩
く

展示資料一覧

番号	資料名	所蔵者・提供者	備考(年代)	コーナー
60	関札	当館蔵(資料番号 2358)	江戸時代	歩
61	写真(山崎宿南側の地蔵)			
62	写真(秋葉夜燈)			
63	写真(山崎宿北側の地蔵)			
64	パネル「中里宿」			
65	写真(愛宕大神)			
66	写真(愛宕神社の鳥居)			
67	パネル「野田人車鉄道」			
68	「人車鉄道について」研究発表配布資料			
69	写真(野田人車鉄道)	当館蔵	大正期	
70	写真(人車鉄道の軌道)	当館蔵	大正期	
71	野田人車鉄道路線平面図	当館蔵(資料番号 2429)	明治30年代	
72	野田人車鉄道株式会社旗	当館蔵(資料番号 2479)	明治~大正期	
73	レール	当館蔵(資料番号 3770)	明治~大正期	
74	写真(人車鉄道の引き込み線跡地)	当館撮影	平成31年	
75	写真(人車鉄道の分岐点)	当館撮影	平成31年	
76	写真(下河岸に向かう下り坂)	当館撮影	平成31年	
77	写真(人車鉄道のトロッコ図面)	国立公文書館所蔵	明治43年	
78	鬼瓦	当館蔵(資料番号 2242)	明治期	
79	パネル「オゼンマイ」			く
80	パネル「船形神社の位置」			
81	史跡探訪「船形香取神社のオゼンマイ」配布資料		平成23年	
82	写真(御社擅献上御膳)			
83	パネル「御社擅献上御膳」			
84	写真(オゼンマイ当日の船形香取神社)	当館撮影	平成31年	
85	写真(御膳献上の様子)	当館撮影	平成31年	
86	御幣	船形香取神社所蔵		
87	銚子、盃	船形香取神社所蔵		
88	包丁(2点)	船形香取神社所蔵		
89	まな板	船形香取神社所蔵	安政6年	
90	写真(まな板裏面)	当館撮影	令和元年	
91	パネル「研究発表」			
92	パネル(研究発表者氏名、タイトル、概要一覧)			
93	パネル「旅日記を読む」			
94	『伊勢・西国巡礼旅日記 古文書から見えた野田 船形農 民の江戸時代の旅』		平成23年	
95	パネル「喜三郎一行の旅」			
96	パネル「喜三郎一行の伊勢参宮・西国巡拝コース」			
97	写真(絵馬「伊勢太々御神楽之図」)	船形香取神社所蔵	明治25年	
98	パネル「文久2年12月17日 出立の日」			
99	パネル「文久3年4月14日 今津町にて」			
100	パネル「旅の費用(野田から伊勢まで)」			
101	パネル「初級古文書解読会」			
102	文書の写しと解読文		平成18年	
103	くずし字用例辞典			
104	古文書解読の参考書(2点)			
105	写真(日光道中御往来日記)	日光東照宮文庫所蔵	安永5年	
106	パネル(日光道中御往来日記の釈文)			
107	御用留	当館蔵(資料番号 3053)	文化3年	
108	パネル(御用留の釈文)			
109	往来手形之事	野田市立興風図書館所蔵	寛政12年	
110	パネル(往来手形之事の釈文)			
111	写真「飯沼新田開発足跡を訪ねる」		平成28年	
112	パネル「道するべ」			
113	パネル「道するべ・筆子塔分布図」		平成12年	
114	『野田・関宿の道するべ』			
115	単独道標	個人保管	慶応元年	
116	パネル(単独道標があった場所)			
117	写真(単独道標)	当館撮影	令和元年	

展示資料一覧

番号	資料名	所蔵者・提供者	備考（年代）	コーナー
118	写真（採拓の様子）	当館撮影	平成31年	
119	単独道標拓本（4点）		平成31年	
120	写真（大黒天像塔）	当館撮影	令和元年	
121	写真（採拓の様子）	当館撮影	平成31年	
122	大黒天像塔拓本（3点）		平成31年	
123	写真（六地藏塔）		安永3年	
124	パネル（六地藏塔の位置）			
125	写真（採拓の様子）		令和元年	
126	六地藏塔拓本（4点）		令和元年	
127	パネル「筆子塔」			
128	『野田市の筆子塔－石造物に見る寺子屋師匠達－』		平成17年	
129	写真（小泉欽齋遺愛碑）		明治10年	
130	写真（染谷玄岱筆子塔・墓石）		明治7年	
131	写真（染谷岱順）		明治期	
132	写真（染谷岱順・墓石）		平成5年	
133	写真（霊仙院住職筆子塔・墓壇）		年未詳	
134	染谷玄岱・岱順の蔵書（7点）	個人蔵	近世～近代	
135	拓本「再建記念 献燈 祭事部」	上花輪香取神社採拓		
136	拓本「駒形神社の馬の碑より」	東深井駒形神社採拓		
137	拓本「吾唯足知」	駒木諏訪神社採拓		
138	拓本「浅草庵一行碑」	清水公園内採拓		
139	拓本の用具（9点）			
140	篆刻「般若心経」	個人制作		
141	篆刻「讀古人書」	個人制作		
142	篆刻「光陰者百代之過客而浮生若夢」	個人制作		
143	篆刻「求福（＝福を求める）」	個人制作		
144	篆刻「鶴寿」	個人制作		
145	篆刻「桃紅柳緑」	個人制作		
146	篆刻「一燈照隅、万燈照国」	個人制作		
147	『篆刻作品集』		平成14年	
148	『篆刻作品集』		平成20年	
149	篆刻の用具（9点）			
150	パネル「古文書研究会」			
151	『江戸時代の清水村－名主渡辺家の文書から－』		平成10年	
152	清水村絵図	野田市立興風図書館所蔵	天保14年	
153	パネル「地名を調べる」			
154	『野田の地名－大字・小字・地番一覧と字界図－』		平成31年	
155	パネル「「小字」とは」			
156	パネル「小字・地番一覧表」			
157	パネル「字界図」			
158	野田町地図（字名入）	野田市立興風図書館所蔵	明治期カ	
159	関宿町の地形地番集成編纂図（原寸大）		平成31年	
160	関宿町の地形地番集成編纂図（統合・縮小版）			
161	パネル「変わりゆく小字名」（2点）			

調
べ
る

※所蔵者・提供者に記載のない資料は全て野田地方史懇話会所蔵・提供

3. 関連事業

○史跡探訪～会員とともにまちなかに遺る史跡を歩こう～

事業区分：委託事業

実施日：第1回「桜台を歩く」

6月22日(土)8時50分～12時30分

第2回「野田人車鉄道の跡を歩く」

9月16日(月祝)9時30分～13時

場 所：キッコーマンもの知りしょうゆ館入口集合、櫻木神社解散(第1回)

郷土博物館集合、野田橋付近解散(第2回)



第1回「桜台を歩く」

案 内：野田地方史懇話会会員

内 容：第1回は、もの知りしょうゆ館を見学した後、懇話会会員の案内により桜台を小字ごとに歩きながら史跡等をめぐった。第2回は、野田人車鉄道の軌道跡を辿って歩いた。

参加費：100円

参加者：第1回30人、第2回24人

○はじめて読む古文書

事業区分：委託事業

実施日：7月6日(土)13時30分～16時

講 師：野田地方史懇話会会員

場 所：市民会館 松・竹・梅の間

内 容：江戸時代の野田地域の古文書を素材に、古文書解読の方法を教えた。

参加費：無料

参加者：14人



はじめて読む古文書

○拓本を体験してみよう

事業区分：委託事業

実施日：8月7日(水)

午前の部 10時～12時

午後の部 13時30分～15時30分

講 師：野田地方史懇話会拓本サークル

場 所：郷土博物館展示室、市民会館 雪・月・桃の間

内 容：石に刻まれた文字や模様を、紙と墨を使って写し取る「拓本」の体験を行った。

参加費：無料

参加者：午前の部7人、午後の部8人



拓本を体験してみよう

○篆刻を体験してみよう

事業区分：委託事業

実施日：8月31日(土)

午前の部 9時30分～12時

午後の部 13時30分～16時

講 師：野田地方史懇話会篆刻サークル

場 所：市民会館 松・竹・梅の間

内 容：名前の最初の1字(ひらがな)を題材とし、石に彫りこむ「篆刻」の体験を行った。

参加費：250円

参加者：午前の部8人、午後の部6人



篆刻を体験してみよう

4. 振り返り

展示内容 野田地方史懇話会(以下、懇話会)の活動の成果を“学ぶ”、“歩く”、“調べる”の3つにわけて、展示を行った。令和2年度で創立30周年を迎える懇話会は、長い活動歴のなかで、さまざまな企画を行ってきた団体であり、その成果の蓄積は膨大である。そこで、本企画展の準備にあたっては、これまでの活動成果の中からどれを展示で紹介するか、会員の方々と学芸員が話し合い、時間をかけながら決めていった。そのなかで、「さまざまなことに取り組んできたのが懇話会」という会員の声から、特定のテーマに絞らずにできるだけ多くの活動内容を紹介することとなった。そこで、講師を招いてお話を聴く企画を“学ぶ”コーナー、実地見学を行う企画を“歩く”コーナー、会員が主体的に調査・研究を行った内容を“調べる”コーナーとして、展示を構成した。冒頭では懇話会の創立当時について触れたコーナーを設けたが、創立から30年近い年月を経ていることもあり、当時のことを知らない会員も多く、そうした方たちが創立に関わった会員たちの想いを改めて知るきっかけとなった点は喜ばしい。



関連事業 参加をとおして会の活動を知ってもらうことを目的に、史跡探訪2回、古文書講座、拓本体験、篆刻体験と5つの事業を開催した。事業数が多くなっているのは6月～9月と会期が長期にわたったことによる。史跡探訪は、実際にその場所を訪れることで歴史への理解を深める講座である。展示内容と絡め、野田の小字についての理解を深める「桜台を歩く」を6月に、醤油を運ぶために用いられていた人車鉄道線路跡をめぐる「野田人車鉄道の跡を歩く」を9月に実施した。どちらも曇天、雨天での開催となったが、途中で体調不良者を出すことなく無事に終えることができた。古文書、拓本、篆刻の講座は、会員有志が定期的に行っている「サークル活動」の体験版として、サークルのメンバーを講師に実施した。古文書講座では、野田の地名が記された江戸時代の古文書等を素材に読み進めた。拓本講座は講師がお手本を見せた後、鬼瓦などを用いて参加者が拓本の体験を行った。篆刻講座は、1～2人の参加者に対してメンバー1人が指導を行いながら、名前の平仮名1字を石に彫り込む体験を行った。拓本、篆刻の講座は定員を少なく設定したため午前と午後に分けて実施したが、その分、参加者からは丁寧に教えてくれたのが良かったという声が寄せられた。

来館者の反応 印象に残った展示物として、下河岸榊田家の看板や日光東往還、伊勢参り、道しるべなどが挙げられていたが、特定の展示物に集中せず、まんべんなく挙げられた傾向にあった。展示の感想として、懇話会の活動について知ることができた、という意見もみられ、グループの活動への理解が深まったことは市民の文化活動報告展の目的でもあり喜ばしい。展示期間中の土日祝日は午前・午後に分かれて会員の方に常駐してもらい来館者に解説をしていただいたが、アンケートでも、説明をもらったのがよかった、という声が寄せられていた。また、少数ながらも、「家のまわりでも気を付けてみたい」という主旨のコメントがあったが、本展示をとおして身近な史跡に目を向ける機会が増えてくれれば何よりである。

その他、来館者の感想は展覧会アンケート集計(45～48ページ)を参照。

展示事業

特別展

郷土史へのまなざし～博物館誕生のものがたり～

会 期：10月5日(土)～1月20日(月)

会 場：博物館1階展示室

開館時間：9時～17時

入館料：無料

入館者：6,321人

事業区分：委託事業



1. 目的

特別展は学芸員の調査研究にもとづいて野田に関する学術的な展示を行う。また、展示に関連した講演会等を行い、地域を深く知る機会とする。

本企画展では、当博物館が昭和34年の開館から60年の節目にあたることを踏まえ、戦後の野田の文化活動における中心人物のひとりである財団法人興風会図書館部主任として博物館設立に大きく関わった佐藤眞(1907～1991)を軸に、当館が開館を迎えるまでの歴史を紹介した。

2. 展示内容

プロローグ 野田戊申会と簡易図書館

野田における文化活動の第一歩となった野田戊申会の活動について、資料とともに紹介した。

第1章 財団法人興風会と図書館

佐藤眞が後に館長を務めることになる興風会図書館(現・野田市立興風図書館)について、財団法人興風会の創設と初期の図書館について、資料とともに紹介した。

第2章 市立函館図書館と佐藤眞

佐藤眞の司書としての図書館勤務は市立函館図書館に始まる。市立函館図書館の館長として佐藤に多大な影響を与えた当時の館長・岡田健蔵について、函館での図書館活動を中心に資料とともに紹介した。

第3章 岡田健蔵と佐藤眞

〈文化活動との関わり〉と〈地域の歴史に目を向ける〉という2つの共通項から、岡田健蔵と佐藤眞が行った文化活動支援、郷土史研究活動について資料とともに紹介した。

第4章 郷土博物館建設運動

昭和23年に結成された野田地方文化団体協議会(現・野田市文化団体協議会)を中心に行われた博物館建設運動について、資料とともに紹介した。

第5章 落成記念展示会

昭和34年4月10日の開館時に催された落成記念展示会の出陳資料を紹介した。当館設立に際し多くの助言を行った國學院大學教授・樋口清之が収集した資料については特に項目を設けて紹介した。

展示資料一覧

番号	資料名	所蔵者・提供者	備考(年代)	コーナー
1	戊申会記録	当館蔵(資料番号 3708)	明治41年	野田戊申会と 簡易図書館
2	パネル「戊申会結成の主旨文」	「戊申会記録」所収	明治41年	
3	会則及び略歴	当館蔵(資料番号 4179)	昭和3年	
4	パネル「賞状」	「会則及び略歴」所収	大正6年	
5	写真(野田戊申会簡易図書館前の集合写真)	野田市立興風図書館提供	大正10年頃	
6	柱時計	当館蔵(資料番号 2286)	大正期	
7	写真(興風会館の開館式)	キッコーマン国際食文化研究センター提供	昭和4年	財団法人 興風会と 図書館
8	パネル「書額「民風作興」	公益財団法人興風会所蔵	昭和4年	
9	パネル「財団法人興風会の事業(昭和16年～)」	当館作成	昭和16年以降	
10	パネル「絵はがき「野田町 興風会館」	当館蔵(資料番号 8834)	昭和初期	独立官舎落成と 野田読書会
11	パネル「興風会館各階平面図」	「財団法人興風会要覧」所収	昭和4年	
12	写真(興風会図書館の地鎮祭)	野田市立興風図書館提供	昭和16年	
13	写真(興風会図書館開館式の集合写真)	野田市立興風図書館提供	昭和16年	
14	パネル「絵はがき「興風会図書館 全景」	個人所蔵	昭和16年	
15	パネル「絵はがき「興風会図書館 一般読書室」	個人所蔵	昭和16年	
16	パネル「絵はがき「興風会図書館 正面玄関」	個人所蔵	昭和16年	
17	パネル「絵はがき「興風会図書館 児童読書室」	個人所蔵	昭和16年	
18	パネル「絵はがき「興風会図書館 図書目録室並二出納所」	個人所蔵	昭和16年	
19	写真(興風会図書館の辞書体目録)	野田市立興風図書館提供	昭和30年代	
20	パネル「興風会図書館新館舎平面図」	『図書館雑誌』第35年第15号所収	昭和16年頃	佐藤眞が暮らした 函館
21	野田読書会規程	野田市立興風図書館所蔵	昭和16年頃	
22	読書興風	野田市立興風図書館所蔵	昭和18年	
23	パネル「函館市全図」	当館蔵「函館市勢要覧」所収	昭和11年	
24	パネル「絵はがき「函館市」	函館市中央図書館		
25	パネル「絵はがき「函館名勝・市立函館図書館」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
26	パネル「絵はがき「函館名勝・日夜交通機関輻輳を極むる十字街」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
27	パネル「絵はがき「函館名勝・街衢最も華やかなる恵比寿町電車通り」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
28	パネル「絵はがき「函館名勝・商機の中枢街末広町」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
29	パネル「絵はがき「函館名勝・青函連絡船の雄姿」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
30	パネル「絵はがき「函館名勝・青函連絡船棧橋」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
31	パネル「絵はがき「函館名勝・山の手方面より函館湾内の展望」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
32	パネル「絵はがき「函館名勝・函館公園雷鉢山からの眺望」	当館蔵(資料番号 9388)	昭和初期	
33	写真(元町公園の函館四天王像)	当館撮影	令和元年	
34	パネル「絵はがき「北海道図書館事業先覚功労者顕徳慰霊祭」	函館市中央図書館所蔵	昭和8年頃	函館公園の開設
35	パネル「函館公園真景縮図」	当館蔵(資料番号 9400)	明治36年	
36	写真(開拓使函館仮博物館)	函館市中央図書館提供	明治期頃	
37	写真(現在の函館仮博物館)	当館撮影	令和元年	
38	写真(函館公園の開園式)	函館市中央図書館提供	明治12年	
39	写真(函館第二博物館)	函館市中央図書館提供	明治期頃	
40	写真(現在の函館第二博物館)	当館撮影	令和元年	
41	写真(区有協同館)	函館市中央図書館提供	明治期頃	
42	写真(岡田健蔵)	函館市中央図書館提供	昭和期	岡田健蔵と 図書館のあゆみ
43	写真(太陽石蠟発売元)	函館市中央図書館提供	明治期頃	
44	パネル「函館絵葉書雅喜倶楽部会則」	市立函館博物館所蔵	明治38年	
45	写真(絵はがき展覧会の様子)2点	函館市中央図書館提供	明治40年	
46	パネル「絵はがき「函館図書館開館式記念」	函館市中央図書館所蔵	明治42年	
47	パネル「絵はがき「函館図書館普通閲覧室」	函館市中央図書館所蔵	明治43年	
48	パネル「絵はがき「書庫と閲覧室」	函館市中央図書館所蔵	明治43年	
49	写真(函館図書館官舎と不燃失書庫)	函館市中央図書館提供	大正～昭和初期	
50	パネル「絵はがき「函館図書館附属新築書庫工事概要」	函館市中央図書館所蔵	大正期	
51	パネル「絵はがき「新館大閲覧室」	函館市中央図書館所蔵	昭和3年	
52	パネル「絵はがき「新館新聞閲覧室」	函館市中央図書館所蔵	昭和3年	
53	パネル「絵はがき「函館図書館」	函館市中央図書館所蔵	昭和3年	
54	パネル「絵はがき「新館陳列室」	函館市中央図書館所蔵	昭和3年	
55	パネル「絵はがき「新館児童閲覧室」	函館市中央図書館所蔵	昭和3年	
56	パネル「絵はがき「付属陳列館」	函館市中央図書館所蔵	昭和3年	
57	写真(図書館職員集合写真)	函館市中央図書館提供	昭和10年代	
58	写真(佐藤眞と同僚集合写真)	函館市中央図書館提供	昭和10年代	
59	函館公園と社会教育	函館市中央図書館所蔵	昭和3年頃	

展示資料一覧

番号	資料名	所蔵者・提供者	備考（年代）	コーナー
60	パネル「市立函館図書館配置図」	「函館公園と社会教育」所収		勤めた図書館 佐藤眞の
61	田中敬より岡田健蔵に宛てた佐藤眞推薦状	函館市中央図書館所蔵	昭和初期	
62	田中敬より佐藤眞へ宛てた書簡	函館市中央図書館所蔵	昭和7年	
63	佐藤眞より岡田健蔵に宛てた書簡	函館市中央図書館所蔵	昭和17年	
64	田中敬より岡田健蔵へ宛てた書簡	函館市中央図書館所蔵	昭和7年	
65	パネル「佐藤眞より岡田健蔵に宛てたはがき（3点）」	函館市中央図書館所蔵	昭和15年	函館図書館の展示活動
66	パネル「市立函館図書館の主な展覧会（昭和3～18年）」	当館作成		
67	パネル「基督教資料展のポスター」	函館市中央図書館所蔵	昭和8年	
68	写真（基督教資料展の展示風景）2点	函館市中央図書館所蔵	昭和8年	
69	モース平瀬両先生記念貝類展覧会目録	函館市中央図書館所蔵	昭和5年	
70	函館回顧展覧会目録	函館市中央図書館所蔵	昭和10年	
71	写真（大火後の市街）2点	函館市中央図書館提供	昭和9年	
72	写真（大火後の函館公園内）2点	函館市中央図書館提供	昭和9年	
73	復興都市建築材料陳列所出品目録	函館市中央図書館所蔵	昭和9年	
74	パネル「復興建築材料展のポスター」	函館市中央図書館所蔵	昭和10年	
75	写真（陳列される復興のための建築資材）2点	函館市中央図書館提供	昭和10年	
76	写真（乱雑なる山背 旧南部藩墓地）	函館市中央図書館提供	昭和10年	
77	写真（南部藩蝦夷地警備資料展覧会の展示風景）2点	函館市中央図書館提供	昭和12年	
78	南部藩蝦夷地警備資料展覧会出品目録	函館市中央図書館所蔵	昭和12年	
79	「千葉政之進筆記」	函館市中央図書館所蔵	文化4年	
80	「松前持場見分留」	函館市中央図書館所蔵	安政2年	
81	パネル「函館先住民遺物展のポスター」	函館市中央図書館所蔵	昭和7年	二人の別れ
82	パネル「アイヌ絵画展覧会のポスター」	市立函館博物館所蔵	昭和11年	
83	パネル「アイヌポスターの頒布に就て」	市立函館博物館所蔵	昭和11年	
84	パネル「郷土文化展覧会のポスター」	函館市中央図書館所蔵	昭和12年	
85	岡田健蔵君還暦頌徳喜季	函館市中央図書館所蔵	昭和18年	
86	岡田健蔵宛還暦の祝い状	函館市中央図書館所蔵	昭和18年	
87	岡田健蔵への弔辞	函館市中央図書館所蔵	昭和19年	
88	岡田図書裡先生肖像	函館市中央図書館所蔵	昭和18年	
89	パネル「岡田健蔵ライフマスク」	市立函館博物館所蔵	昭和10年頃	
90	佐藤眞肖像	個人蔵	昭和38年	
91	写真（興風会図書館受付の佐藤眞）	野田市立興風図書館提供	昭和20年頃	文化活動との関わり
92	パネル「佐藤先生の思い出」	井上光氏（元興風会図書館職員）談		
93	写真（児童クラブの紙芝居大会）	野田市立興風図書館提供	昭和25年	
94	写真（人形劇を演じる図書館職員）	個人提供	昭和31年	
95	野田地方文化団体協議会の結成式	当館蔵（資料番号5817）	昭和23年	
96	野田地方文化団体協議会規約	当館蔵（資料番号5817）	昭和23年	
97	文化講演と芸能会プログラム	当館蔵（資料番号5817）	昭和23年	
98	高田屋嘉兵衛旧跡仕様概要	函館市中央図書館所蔵	大正6年	
99	室蘭市郷土室施設内容陳列概要私案写	函館市中央図書館所蔵	昭和8年	
100	郷土誌料の収集整理要項	函館市中央図書館所蔵	昭和期	
101	箱館戦争と五稜郭 附録 函館の史蹟と名勝	個人蔵	昭和5年	地域の歴史に目を向ける
102	パネル「函館ノ史蹟ト名勝案内図」	「箱館戦争と五稜郭 附録 函館の史蹟と名勝」所収		
103	パネル「郷土風景写真募集のことば」	市立函館博物館所蔵	昭和3年	
104	市立函館図書館地学関係図書標本目録	当館蔵（9392）	昭和17年	
105	写真（郷土資料を読む佐藤眞）	野田市立興風図書館提供	昭和30年代頃	
106	パネル「佐藤眞主要著作一覧」	当館作成		
107	興風会図書館蔵野田地方植物千葉県産貝類標本目録	当館蔵	昭和26年	
108	植物標本 2点	当館蔵（資料番号856、876）	昭和18、21年	
109	野田町大字野田区実測図	当館蔵（資料番号3714）	大正4年	
110	清水文書「下総国山崎村と野田村野境争論絵図写」	野田市立興風図書館所蔵	寛文5年	
111	写真（撮影された文書資料）	野田市立興風図書館提供	昭和28年頃	
112	瑞宝章授与の賞状	個人蔵	昭和53年	調査活動 文協と発掘
113	写真（佐藤眞）	個人蔵	昭和期	
114	王之渙「登鶴鶴楼」	個人蔵	昭和期	
115	初石古墳の発掘について	当館蔵（資料番号5817）	昭和23年	
116	東深井古墳群発掘のお知らせ	当館蔵（資料番号5817）	昭和24年	
117	東深井古墳群発掘の意義と価値	当館蔵（資料番号5817）	昭和24年	
118	写真（東深井古墳発掘調査団）	当館蔵	昭和24年	

展示資料一覧

番号	資料名	所蔵者・提供者	備考(年代)	コーナー
119	初石古墳出土遺物	当館蔵(資料番号 6716)	古墳時代	文協と発掘調査活動
120	野田地方の古代文化	当館蔵(図書番号 2386)	昭和 25 年	
121	写真(大山史前学研究所による野田貝塚の発掘)	個人蔵/國學院大學博物館写真提供	昭和 10 年代	樋口清之との影響
122	写真(國學院大學での講義風景)	個人蔵/國學院大學博物館写真提供	昭和 14 年	
123	写真(教授室の執務風景)	個人蔵/國學院大學博物館写真提供	昭和 30 年代前半	
124	発掘機材類とトランシット(測量機器)	國學院大學博物館所蔵		
125	陳情書	野田市立興風図書館所蔵	昭和 25 年	
126	野田郷土博物館敷地図	当館蔵	昭和 25 年	
127	野田郷土博物館平面図	当館蔵	昭和 25 年	
128	写真(食生活展会場風景) 2 点	当館蔵(資料番号 2900『食生活の変遷』所収)	昭和 27 年	郷土文化の普及活動
129	写真(樋口清之による記念講演)	当館蔵(資料番号 2900『食生活の変遷』所収)	昭和 27 年	
130	写真(食生活展会場入り口)	当館蔵(資料番号 2900『食生活の変遷』所収)	昭和 27 年	
131	写真(食生活展会場風景 古代食の実物製作)	当館蔵(資料番号 2900『食生活の変遷』所収)	昭和 27 年	
132	食生活の変遷—食生活展覧会史料集成—	当館蔵(図書番号 2387)	昭和 29 年	
133	万葉歌碑建設記念絵はがき	当館蔵(資料番号 3937)	昭和 28 年	
134	日誌(設立準備委員会)	当館蔵(資料番号 2900)	昭和 29 年	
135	写真(柳田國男と樋口清之の講演会記念写真)	個人蔵/野田市史編さん担当提供	昭和 29 年	設立準備委員会と資料収集
136	看板「野田市博物館設立準備委員会」	当館蔵(資料番号 6671)	昭和 29 年	
137	写真(興風会図書館入口に掲げられた準備委員会の看板)	野田市立興風図書館所蔵	昭和 29 年頃	
138	写真(図書館内に集められた博物館資料)	野田市立興風図書館所蔵	昭和 29 年頃	
139	薬師如来座像解説	当館蔵(資料番号 2900)	昭和 30 年	
140	昆虫標本	当館蔵(資料番号 528)	昭和 32 年	
141	博物館資料展示会目録	当館蔵(資料番号 2900)	昭和 30 年	
142	写真(博物館資料展示会の様子)	『野田市勢要覧 市制施行五周年記念』所収	昭和 30 年	博物館の建設
143	野田市郷土博物館建設案内	当館蔵(資料番号 2900)	昭和 34 年頃	
144	市民会館略図	当館蔵	昭和 32 年頃	
145	博物館委託資料の引き渡し願い(案)	当館蔵	昭和 34 年	
146	野田市郷土博物館資料目録	当館蔵(資料番号 2900)	昭和 34 年	
147	写真(博物館入口での記念写真)	当館蔵	昭和 34 年	
148	写真(庭園での祝宴の様子) 2 点	当館蔵	昭和 34 年	
149	落成記念陳列目録	当館蔵(資料番号 2900)	昭和 34 年	開館と落成記念展示会
150	パネル「落成記念陳列目録」掲載資料一覧」	当館作成		
151	錦絵「壇浦兜軍記」豊原国周筆	当館蔵(資料番号 462～464)	明治初期	
152	町人駕籠	当館蔵(資料番号 303)	安政 3 年	
153	馬形埴輪	当館蔵(資料番号 50)	古墳時代	
154	木樋と船釘	当館蔵(資料番号 149)	江戸時代	
155	銭箱	当館蔵(資料番号 102)	江戸時代	
156	大福帳	当館蔵(資料番号 152)	文久 2 年	
157	鉄漿盥	当館蔵(資料番号 118)	江戸時代後期	
158	火縄銃	当館蔵(資料番号 108)	江戸時代	
159	飾刀	当館蔵(資料番号 117)	江戸時代末期	
160	刺又	当館蔵(資料番号 103)	江戸時代	
161	袖搦	当館蔵(資料番号 100)	江戸時代	
162	ハマグリ化石	当館蔵(資料番号 2)		
163	柄鏡「天下一吉村吉勝」	当館蔵(資料番号 144)	江戸時代末期	
164	柄鏡「天下一藤原吉重」	当館蔵(資料番号 145)	江戸時代末期	
165	機織機の部品(筵、棒、杼)	当館蔵(資料番号 101)	江戸時代初期	
166	石鏃	当館蔵(資料番号 16)	縄文時代	
167	慶長以来江戸大地震大災番付	当館蔵(資料番号 290)	安政 2 年	
168	法衣	当館蔵(資料番号 304)		
169	法冠	当館蔵(資料番号 305)		
170	蕎麦垂入れ 3 点	当館蔵(資料番号 141～143)	明治期	
171	水牛角製花器舟	当館蔵(資料番号 135)		
172	アメリカ製写真機	当館蔵(資料番号 136)	明治初期	
173	陶器(徳利)	当館蔵(資料番号 153)	年代不詳	
174	写真(逸見治郎肖像)	当館蔵(資料番号 164)	年代不詳	
175	兜	当館蔵(資料番号 96)	安土・桃山時代	
176	法隆寺百萬塔	当館蔵(資料番号 82)	奈良時代	
177	櫓時計	当館蔵(資料番号 148)	江戸時代	

番号	資料名	所蔵者・提供者	備考(年代)	コーナー
178	正倉院御物摸写屏風(6曲1双)2点	当館蔵(資料番号86、87)	江戸時代	幅広い資料を集める
179	一遍上人絵伝第三巻(模写)	当館蔵(資料番号620)	昭和2年	
180	釈迦八相倭文庫 第48、49編合本	当館蔵(資料番号285)	文久2年	
181	豊時田秋連新雁	当館蔵(資料番号259)	明治12年	
182	火打箱	当館蔵(資料番号113～115)	江戸時代	
183	矢籤箱と籤板	当館蔵(資料番号99)	江戸時代	
184	甲冑	当館蔵(資料番号7017)	安土・桃山時代	
185	資料寄託願い(控)	当館蔵	昭和34年	
186	醸造資料寄託目録(第一次)	当館蔵(資料番号2900)	昭和34年	
187	醸造資料寄託目録(第二次)	当館蔵(資料番号2900)	昭和34年	
188	ゴム判(キッコーマン醤油)	キッコーマン株式会社所有/当館寄託(資料番号1330)		続く資料収集
189	印半纏(ミナカミ)	キッコーマン株式会社所有/当館寄託(資料番号1323)		
190	オビシャ用 膳、椀	当館蔵(資料番号637～647)		
191	行燈	当館蔵(資料番号674)		

3. 関連事業

○オープニング・レセプション

実施日：10月5日(土)10時～11時

場 所：郷土博物館1階展示室

参加者：39人



オープニング・レセプション

○学芸員によるギャラリートーク

実施日：第1回 10月27日(日) 第2回 11月9日(土)

第3回 11月17日(日) 第4回 12月1日(日)

第5回 12月14日(土) 第6回 1月18日(土)

各回とも14時～14時45分

場 所：郷土博物館1階展示室

参加費：無料

参加者：第1回7人、第2回5人、第3回4人、第4回3人、
第5回12人、第6回10人

内 容：学芸員が展示解説会を行った。

○ミュージアムトーク「博物館設立よもやま話」

実施日：12月8日(日)13時30分～14時30分

講 師：下津谷達男氏(元野田市郷土博物館長/元國學院
大學栃木短期大学教授/野田地方史懇話会会長)

場 所：郷土博物館1階展示室

参加費：無料

参加者：29人

内 容：当館開館時に学芸員として勤めていた下津谷氏
に、当時の様子などについて自身の体験をまじえ
ながらお話いただいた。



ミュージアムトーク
「博物館設立よもやま話」

なお、11月23日(土)に予定していた特別展関連講演「函館図書館の父・岡田健蔵の「函館百珍」と北海道史～佐藤眞に影響を与えた姿～」は都合により開催を中止しました。講演を楽しみにされていた皆さまに深くお詫び申し上げます。

4. 振り返り

展示内容 令和元年は郷土博物館開館から60年の節目に当たることから、野田における博物館設立にまつわる歴史を紹介した。当館は千葉県内で最初の登録博物館であり、まちの人々による文化活動によって設立に至った経緯がある。明治期より続く野田の文化活動については、開館40年を記念して平成11年に開催した特別展「野田文化の芽ばえ 明治から昭和中期の社会教育史」で紹介している。そこで、本展示の前半部では、当館設立を直接的に働きかけた野田地方文化団体協議会の中心人物のひとりである、財団法人興風会図書館の佐藤眞を軸に展示を構成した。興風会図書館へ赴任する前に佐藤が勤務していた市立函館図書館では、函館図書館界の先駆者・岡田健蔵館長のもと、郷土資料の収集や公開といった展示活動が展開されていた。こうした経験を積んだ佐藤が興風会図書館に赴任した点を、戦後の文化活動の活性化とそれに続く博物館設立の契機として捉え、特に佐藤が経験した函館図書館に関わる部分を重点的に取り上げた。

当館の開館準備の過程で収集された資料は、博物館設立準備委員会名で収集されたもの以外に、学術的な助言を行っていた國學院大學教授・樋口清之氏の収集資料や、市民から寄贈を受けた資料などがある。この点は、設立の経緯とも深く関わっており、当館の由来を特徴づけるものとなっている。そのため、後半部では、博物館設立運動の様子と、落成記念展示会に際して陳列された資料を紹介した。博物館の設立に関わるテーマは一見すると地味なものではあるが、まちの人々の活動によって設立された経緯を持つ当館では、今後も視点を変えながらこのようなテーマを取り上げていくことで、地域の歩みを知ってもらうと同時に、博物館のような文化施設の持つ意義について考えてもらう機会となるものと考えている。

関連事業 学芸員による展示解説を6回開催したほか、〈ミュージアムトーク〉として、博物館展示室を会場に、開館当時の様子を知る下津谷達男氏にご講演いただいた。下津谷氏は当館設立時から学芸員として勤め、昭和38年から同63年まで館長として当館の運営に尽力されたが、國學院大學の学生であった頃より当館の設立運動に関わっていた方との親交などもあり、その当時のことについてご講演いただいた。参加者からは、「下津谷先生ならではの興味ある話が聞けてよかった」、「創立時の経緯がよくわかった」など大変好評であった。

来館者の反応 印象に残った展示物として、樋口清之氏収集資料や落成記念展示会の出品資料を挙げる声がみられた。また、函館に関わる絵はがきや手紙などの資料を挙げた意見もあったが、函館という野田からは遠く離れた地域の資料をとおして、野田の文化活動の系譜のなかに、他地域からの人材・知識の流入があったことを感じ取っていただけたのであれば幸いである。なお、特定の展示物に関するものではないが「図書館など尽力する人々の熱意」(原文ママ)といった文化施設に携わった人々に対するコメントも見られた。

その他、来館者の感想は展覧会アンケート集計(45～48ページ)を参照。



展示事業

企画展

野田に生きた人々 その生活と文化 2020

会 期：2月1日(土)～2月28日(金)※

会 場：博物館1階展示室

開館時間：9時～17時

入館料：無料

入館者：1,694人

※当初会期は3月30日(月)までだったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮

事業区分：委託事業



1. 目的

本企画展では例年、小、中学生を主な対象に、野田の歴史を旧石器時代から現代まで、人々の生活と文化に焦点をあてて紹介している。昨年度に引き続き、課題としている「収蔵資料の公開」のために、当館の新収蔵品を本展覧会の中で展示し、博物館の資料収集活動について啓発するとともに、時代や暮らしの変化について考える機会とした。

2. 展示内容

小学校の社会科見学での来館時期に合わせるため、2017度より会期を1～3月に変更している。「考古資料」「郷土の人物」「新収蔵資料」の3つのコーナーに分け、展示を行った。各コーナーのメインの展示パネルは例年通りイラストを多く使用したものとし、今年度は特に考古資料について、土器や石器の使い方などの補助的な解説パネルを多く設置した。

(1) 考古資料コーナー

旧石器時代から古墳時代までの石器、土器、埴輪等の出土遺物を展示するとともに、パネルで解説を行った。展示の冒頭で発掘調査の道具を紹介するコーナーを設け、考古遺物がどのように発掘、修復されているか、道具と発掘現場のイラスト等で紹介した。また、土器や石器の使い方などの補助的な解説パネルを多く設置したほか、現代の鍋や急須などを一部の考古資料と一緒に展示し、子どもたちが現在の自分たちの生活と比べながら学べるようにした。

(2) 郷土の人物コーナー

終戦時の内閣総理大臣・鈴木貫太郎と童謡作曲家・山中直治の関係資料を展示した。鈴木貫太郎に関しては、主に臨時休館中の野田市鈴木貫太郎記念館から所蔵資料を借用した。例年紹介している山中直治については、今年度は特に直治の作曲した民謡「野田音頭」を取り上げた。

(3) 新収蔵資料コーナー

平成30年度の寄贈申込みに対して1点以上の資料を展示した(これまでに展示実績や近日中に展示予定がある資料を除く)。また、調査目的以外の購入資料を展示した。展示資料は「醤油関係資料」や「絵はがき」などに分類し、当館が野田に関わるどのような資料を収集しているかが来館者に伝わるようにした。

展示資料一覧

番号	資料名	(出土地名)	所蔵者	備考 (年代、寄贈者)	コーナー	
1	片口付深鉢形土器	稲荷前遺跡	当館蔵 (資料番号 7131)	縄文時代前期	考古学の世界へようこそ！	
2	発掘現場のジオラマ		野田市教育委員会蔵			
3	箕		野田市教育委員会蔵			
4	移植ゴテ		野田市教育委員会蔵			
5	メジャー		野田市教育委員会蔵			
6	スタフ		野田市教育委員会蔵			
7	お玉		野田市教育委員会蔵			
8	鎌		野田市教育委員会蔵			
9	ピンボール		野田市教育委員会蔵			
10	水系		野田市教育委員会蔵			
11	鋤簾		野田市教育委員会蔵			
12	円匙 (シャベル)		野田市教育委員会蔵			
13	写真 (発掘調査中の山崎貝塚)		野田市教育委員会提供			
14	写真 (発掘調査中の槇の内遺跡)		当館撮影			
15	バイサム		野田市教育委員会蔵			
16	写真 (土器の修復作業) 4点		当館撮影			
17	浅鉢形土器	野田貝塚	野田市教育委員会蔵	縄文時代		
18	スライドショー (土器の修復)		当館撮影			
19	パネル「約2万年前の日本列島」					
20	尖頭器 2点	寺後遺跡	当館蔵 (資料番号 7119)	旧石器時代	旧石器時代	
21	石器 11点	槇の内遺跡	当館蔵 (資料番号 7118)	旧石器時代		
22	尖頭器と削器 4点	三ツ堀遺跡	当館蔵 (資料番号 7120)	旧石器時代		
23	黒曜石	北海道白滝	個人蔵			
24	石器 8点	本郷遺跡 A 地点	当館蔵 (資料番号 7117)	縄文時代草創期	縄文時代	
25	石鏃 5点	東金野井貝塚	当館蔵 (資料番号 7127)	縄文時代		
26	異形台付土器	木野崎本郷遺跡	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
27	土偶	木野崎本郷遺跡	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
28	手燭形土製品	木野崎本郷遺跡	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
29	貝輪	木野崎本郷遺跡	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
30	ヤス状刺突具 2点	木野崎本郷遺跡	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
31	土製耳飾 13点	木野崎本郷遺跡	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
32	注口土器	岩名貝塚	当館蔵 (資料番号 2550)	縄文時代後期		
33	深鉢形土器	香取原貝塚	当館蔵 (資料番号 1035)	縄文時代後期		
34	深鉢形土器	中野台貝塚	当館蔵 (資料番号 7140)	縄文時代中期		
35	注口土器	野田貝塚	当館蔵 (資料番号 7138)	縄文時代晩期		
36	鉢形土器	東金野井貝塚	当館蔵 (資料番号 2855)	縄文時代後期		
37	壺形土器	山崎貝塚	当館蔵 (資料番号 3424)	縄文時代晩期		
38	深鉢形土器	目吹新立貝塚	当館蔵 (資料番号 7071)	縄文時代前期		
39	貝塚断面模型		当館蔵 (資料番号 2699)			
40	パネル「縄文時代の時期区分と貝塚の様相の変化」					
41	浅鉢形土器	山崎貝塚	当館蔵 (資料番号 3425)	縄文時代晩期		縄文のタイムカプセル ・貝塚
42	注口土器	山崎貝塚	当館蔵 (資料番号 7141)	縄文時代後期		
43	異形台付土器	野田貝塚	当館蔵 (資料番号 7139)	縄文時代晩期		
44	動物遺体 (獣骨、貝)	野田貝塚	野田市教育委員会蔵	縄文時代		
45	写真 (山崎貝塚)					
46	写真 (野田貝塚)					
47	パネル「千葉県域の貝塚 (VI期 (後期前葉))」					
48	パネル「野田市域遺跡分布図」					
49	山形土偶	野田貝塚	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期	土偶って なあに？	
50	ミミズク形土偶	野田貝塚	当館蔵 (資料番号 7129)	縄文時代後期～晩期		
51	ミミズク形土偶	野田貝塚	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
52	ミミズク形土偶	野田貝塚	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
53	土偶	野田貝塚	野田市教育委員会蔵	縄文時代後期～晩期		
54	深鉢形土器	新宿貝塚	野田市教育委員会蔵	縄文時代前期	縄文時代の 道具	
55	鍋		当館蔵	現代		
56	注口土器	香取原貝塚	当館蔵 (資料番号 1039)	縄文時代後期		
57	急須		当館蔵	現代		
58	打製石斧	東金野井貝塚	当館蔵 (資料番号 7123)	縄文時代		
59	磨製石斧	北前貝塚	当館蔵 (資料番号 7122)	縄文時代		

展示資料一覧

番号	資料名	(出土地名)	所蔵者	備考 (年代、寄贈者)	コーナー
60	貝刃 2点	北前貝塚	当館蔵 (資料番号 7124)	縄文時代前期	縄文時代の 道具
61	石匙	勢至久保遺跡	当館蔵 (資料番号 7128)	縄文時代	
62	磨石	東金野井貝塚	当館蔵 (資料番号 7121)	縄文時代	
63	石皿		当館蔵 (資料番号 2226)	縄文時代	
64	すり鉢とすりこぎ		当館蔵	現代	弥生時代
65	壺形土器	寺後遺跡	当館蔵 (資料番号 7135)	弥生時代	
66	壺形土器	宝蓮坊遺跡	野田市教育委員会蔵	弥生時代	
67	壺形土器	勢至久保遺跡	当館蔵	弥生時代	
68	紡錘車 2点	西山遺跡	野田市教育委員会蔵	弥生時代	古墳時代
69	浅鉢形土器	宝蓮坊遺跡	当館蔵 (資料番号 7136)	弥生時代後期	
70	竪穴式住居模型	中根八幡前遺跡復元	当館蔵 (資料番号 38)	古墳時代前期	
71	小型壺	中根八幡前遺跡	当館蔵 (資料番号 42)	古墳時代前期	
72	直口壺	中根八幡前遺跡	当館蔵 (資料番号 41)	古墳時代前期	古墳時代
73	写真 (中根八幡前遺跡)		当館撮影		
74	甕	南大和田遺跡	野田市教育委員会蔵	古墳時代後期	
75	長胴甕	南大和田遺跡	野田市教育委員会蔵	古墳時代後期	
76	壺形土器	南大和田遺跡	野田市教育委員会蔵	古墳時代後期	
77	甌	桜台遺跡	当館蔵 (資料番号 6938)	古墳時代前期	
78	パネル「甌の使い方」				
79	鉄鏃	岩名古墳	野田市教育委員会蔵	古墳時代後期	
80	直刀	岩名古墳	野田市教育委員会蔵	古墳時代後期	
81	鉄剣	香取原古墳群	当館蔵 (資料番号 1112)	古墳時代後期	
82	直刀	香取原古墳群	当館蔵 (資料番号 1113)	古墳時代後期	
83	写真 (香取原古墳群の発掘調査に参加した中学生)		当館撮影	昭和 31 年頃	
84	管玉 2点	上灰毛遺跡	当館蔵 (資料番号 7113)	古墳時代中期	
85	有孔円板 4点	上灰毛遺跡	当館蔵 (資料番号 7110)	古墳時代中期	
86	剣形品 9点	上灰毛遺跡	当館蔵 (資料番号 7111)	古墳時代中期	
87	勾玉 4点	上灰毛遺跡	当館蔵 (資料番号 7112)	古墳時代中期	
88	白玉	上灰毛遺跡	当館蔵 (資料番号 7114)	古墳時代中期	
89	紡錘車	宮前遺跡	当館蔵 (資料番号 7108)	古墳時代中期	埴輪 ってなあに？
90	馬形埴輪	流山市内	当館蔵 (資料番号 50)	古墳時代後期	
91	円筒埴輪	香取原古墳群	当館蔵 (資料番号 1086)	古墳時代後期	
92	円筒埴輪	香取原古墳群	当館蔵 (資料番号 1087)	古墳時代後期	
93	円筒埴輪	香取原古墳群	当館蔵 (資料番号 1088)	古墳時代後期	
94	朝顔形埴輪	香取原古墳群	当館蔵 (資料番号 6986)	古墳時代後期	
95	人物埴輪	門倉公園前古墳	当館蔵 (資料番号 4102)	古墳時代後期	
96	写真 (門倉公園前古墳の人物埴輪の出土状況)		当館撮影	昭和 38 年	
97	写真 (門倉公園前古墳の遠景と埴輪が見つかった八幡宮)		当館撮影	昭和 38 年	
98	長頸壺	二ツ塚古墳群	当館蔵 (資料番号 7106)	古墳時代	
99	壺形土器	堤台松山遺跡	当館蔵 (資料番号 7236)	古墳時代	
100	魚形埴輪	香取原古墳	当館蔵 (資料番号 4104)	古墳時代後期	野田ゆかりの 人物たち
101	鶏形埴輪	香取原古墳	当館蔵 (資料番号 4105)	古墳時代後期	
102	写真 (魚形埴輪と鶏形埴輪が出土した 7 号墳)		当館撮影	平成 22 年	
103	写真 (魚形埴輪と鶏形埴輪の出土状況)		当館撮影	昭和 37 年	
104	人物埴輪	東深井古墳群	当館蔵 (資料番号 2266)	古墳時代後期	
105	人物埴輪	東深井古墳群	当館蔵 (資料番号 2267)	古墳時代後期	
106	人物埴輪	東深井古墳群	当館蔵 (資料番号 4103)	古墳時代後期	
107	写真 (閑宿の自宅でくつろぐ貫太郎・タカ夫妻)		野田市鈴木貫太郎記念館蔵	昭和期 (戦後)	
108	鈴木タカ夫人作の牡丹の絵		野田市鈴木貫太郎記念館蔵	昭和期	
109	写真 (鈴木貫太郎記念館)		当館撮影		
110	パネル「鈴木貫太郎閣下彫像建設趣意書」		野田市鈴木貫太郎記念館蔵	昭和 22 年	
111	鈴木貫太郎翁寿像記録		鈴木貫太郎翁寿像記録所収	昭和 22 年	
112	鈴木貫太郎翁木像		野田市鈴木貫太郎記念館蔵	昭和 22 年	
113	鈴木タカ夫人木像		野田市鈴木貫太郎記念館蔵	昭和 35 年	
114	写真 (山中直治肖像)		当館蔵		
115	写真 (山中直治と子どもたち)		当館蔵 (資料番号 4637)	昭和初期	
116	パネル「絵はがき「野田小学校」		当館蔵 (資料番号 8390)	昭和初期	
117	写真 (松山隆)		当館蔵 (資料番号 4814)	昭和初期	
118	レコード「こんこん小山の白狐」		当館蔵 (資料番号 7504)		

展示資料一覧

番号	資料名 (出土地名)	所蔵者	備考 (年代、寄贈者)	コーナー
119	山中直治童謡曲集	当館蔵 (資料番号 7894)	昭和 8 年	野田ゆかりの人物たち
120	山中直治作品発表会のプログラム	当館蔵 (資料番号 4813)	昭和 8 年	
121	日本童謡民謡曲集	当館蔵 (資料番号 9327)	昭和 8 年	
122	染谷齊一郎から山中直治に宛てた書簡 (野田音頭採用のお知らせ)	当館蔵 (資料番号 4683)	昭和 8 年	
123	レコード「野田音頭／野田はよいとこ」	当館蔵 (資料番号 5695)		
124	歌詞カード「野田音頭」	当館蔵 (資料番号 4681)	昭和 11 年	
125	音声資料「野田音頭／野田はよいとこ」			
126	留袖	当館蔵 (資料番号 9364)	個人寄贈	新収蔵資料
127	定期急航船広告	当館蔵 (資料番号 9347)	個人寄贈	
128	稟告 (六才社船通年運航について)	当館蔵 (資料番号 9345)	個人寄贈	
129	北総鉄道株式会社新株式募集案内	当館蔵 (資料番号 9341)	個人寄贈	
130	北総鉄道株式会社列車時刻表	当館蔵 (資料番号 9343)	個人寄贈	
131	総武鉄道沿線案内	当館蔵 (資料番号 9344)	個人寄贈	新収蔵資料 醤油関係資料
132	最上醤油櫛形印製造場本店之図	当館蔵 (資料番号 9366)	購入	
133	正月用引札 (高梨兵左衛門家)	当館蔵 (資料番号 9371)	購入	
134	醤油ラベル (キッコーマン)	当館蔵 (資料番号 9323)	個人寄贈	
135	醤油ラベル (キッコーマン)	当館蔵 (資料番号 9324)	個人寄贈	
136	醤油ラベル (キッコーマン)	当館蔵 (資料番号 9325)	個人寄贈	
137	キッコーマンソース広告 (壺形)	当館蔵 (資料番号 9373)	購入	
138	キッコーマン醤油景品付大売出し広告 (樽形)	当館蔵 (資料番号 9358)	購入	
139	株式会社野田商誘銀行定款	当館蔵 (資料番号 9377)	購入	新収蔵資料
140	大日本醸造家名鑑	当館蔵 (資料番号 9394)	購入	
141	地方資料小鑑	当館蔵 (資料番号 9386)	購入	
142	皇国名誉書画人名録	当館蔵 (資料番号 9398)	購入	
143	和亭翁画幽蘭竹篠図	当館蔵 (資料番号 9368)	購入	
144	薪炭売上帳	当館蔵 (資料番号 9281)	個人寄贈	
145	槍	当館蔵 (資料番号 9363)	個人寄贈	
146	興風会館大講堂座席	当館蔵 (資料番号 9361)	個人寄贈	
147	飯盒	当館蔵 (資料番号 9397)	個人寄贈	新収蔵資料 絵はがき
148	編み機	当館蔵 (資料番号 9274)	個人寄贈	
149	野田町清水公園内朝鮮販売店旅行団建立 工場見学記念絵葉書	当館蔵 (資料番号 9336)	個人寄贈	
150	絵はがき「千葉県野田町金乗院不動堂 昭和八年六月十一日晋山式記念五ノ三」	当館蔵 (資料番号 9337)	個人寄贈	
151	絵はがき「千葉県野田町金乗院仁王門 昭和八年六月十一日晋山式記念五ノ四」	当館蔵 (資料番号 9337)	個人寄贈	
152	絵はがき「千葉県野田町金乗院庭園 昭和八年六月十一日晋山式記念五ノ五」	当館蔵 (資料番号 9337)	個人寄贈	
153	絵はがき「野田醤油株式会社第九工場」	当館蔵 (資料番号 9338)	個人寄贈	
154	野田基督同胞教会新築記念絵はがき	当館蔵 (資料番号 9339)	個人寄贈	
155	写真アルバム (野田町青年団等)	当館蔵 (資料番号 9288)	個人寄贈	野田を写した古写真 新収蔵資料
156	写真 (仲町の獅子神輿)	*資料番号 9288 所収	個人寄贈	
157	写真 (子ども神輿)	当館蔵 (資料番号 9301)	個人寄贈	
158	写真 (武者人形飾り)	当館蔵 (資料番号 9315)	個人寄贈	
159	写真 (店先で遊ぶ子ども)	当館蔵 (資料番号 9308)	個人寄贈	
160	写真 (出征兵士の見送り)	当館蔵 (資料番号 9307)	個人寄贈	
161	写真 (電車から手を振る出征兵士)	当館蔵 (資料番号 9286)	個人寄贈	
162	写真 (野田町消防組第 2 部)	*資料番号 9288 所収	個人寄贈	
163	写真 (野田町青年団創立 20 周年記念大会)	当館蔵 (資料番号 9319)	個人寄贈	

3. 関連事業

○学芸員による展示解説「郷土の人物について知ろう」

予定日：2月29日(土)、3月22日(日)14時～14時40分

○ミュージアム・コンサート「山中直治コンサート」

予定日：3月14日(土)14時開演

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。詳細は 18 ページを参照。

展示内容 考古資料コーナーについては、時代順の展示を基本としながらも、出土状況の写真や土器や石器の使い方を記した解説パネルを多数配置した。また、土器の隣に現代の鍋や急須を置き、特に子どもたちが現代の生活と比較して考えられるようにした。郷土の人物コーナーでは、鈴木貫太郎と山中直治を取り上げた。市内の関宿地域旧関宿町。平成15年に野田市と合併には、鈴木貫太郎関係資料を数多く所蔵する野田市鈴木貫太郎記念館があるが、合併によって南北に非常に長くなっている野田市の地形上、当館のある野田地域(旧野田市)の市民が気軽に訪れることは難しい。また、記念館は令和元年の台風19号によって施設が被災し、長期間の臨時休館を余儀なくされていた。そこで、本企画展において記念館の資料を借用し、野田地域の市民にも紹介する機会とした。また、山中直治については、直治の作曲した「野田音頭」の関連資料やデジタル化したレコードの音源を展示室内で視聴できるようにし、実際聴耳でとにより、作曲家としての直治をより理解してもらえるようにした。新収蔵資料コーナーでは、寄贈や購入によって収集した資料を「醤油関係資料」や「絵はがき」などのテーマに分けて公開した。

令和元年度企画展
野田に生きた人々
その生活と文化2020

会期 令和2年2月1日(土)～3月30日(月)
9時～17時 火曜休館(祝日は開館)
会場 野田市郷土博物館1階展示室

新収蔵資料コーナー
新発見! 醤油関係資料
新発見! 絵はがき
新発見! 醤油関係資料の正月用台紙

考古資料コーナー
新しく博物館に加わった資料を
新発見! 醤油関係資料
新発見! 絵はがき

郷土の人物コーナー
ふたりはどんな人だったんだろう? 知りたくなさる!

鈴木貫太郎
山中直治

イベント
学芸員による展示解説
郷土の人物について知ろう
野田音頭
山中直治コンサート

野田市郷土博物館・市民会館
〒278-0027 千葉県野田市野田1-1-6
電話 04-7124-6051 FAX 04-7124-6066
http://www.noda-muse.or.jp

関連事業 郷土の人物コーナーでの学芸員による展示解説と市民グループ「山中直治を歌う会」による山中直治のコンサートを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため中止となった。

来館者の反応 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、展示そのものが開幕から1か月に満たずに終了となってしまい、来館者の目に触れる機会が少なかったが、アンケートの印象に残った展示物として、野田音頭の音声展示や鈴木貫太郎関係資料をあげる意見も見られ、展示の目的はある程度達成されたと感じられた。

その他、来館者の感想は展覧会アンケート集計(45～48ページ)参照。

展覧会アンケート集計*

○総集計枚数

展覧会名	回収期間 (=会期)	回収枚数
2019年度市民コレクション展 「日本刀～古刀から現代刀まで～」	4月6日 ～5月27日	302枚 (入館者数の3%)
令和元年度市民の文化活動報告展 「あなたの野田を見つけよう」	6月8日 ～9月23日	134枚 (入館者数の2%)
令和元年度特別展 「郷土史へのまなざし～博物館誕生のものがたり～」	10月5日 ～1月20日	104枚 (入館者数の2%)
令和元年度生活文化展 「野田に生きた人々 その生活と文化 2020」	2月1日 ～2月28日	30枚 (入館者数の1%)

1. 性別

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
男	182 (60%)	78 (58%)	68 (65%)	22 (73%)
女	111 (37%)	51 (38%)	31 (30%)	6 (20%)
無効・未回答	9 (3%)	5 (4%)	5 (5%)	2 (7%)

3. 住まい

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
市内	72 (24%)	44 (33%)	42 (40%)	15 (50%)
市外	219 (73%)	85 (63%)	62 (60%)	14 (47%)
無効・未回答	11 (4%)	5 (4%)	0 (0%)	1 (3%)

2. 年代

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
10代未満	5 (2%)	8 (6%)	0 (0%)	0 (0%)
10代	21 (7%)	12 (9%)	1 (1%)	0 (0%)
20代	19 (6%)	8 (6%)	5 (5%)	0 (0%)
30代	40 (13%)	8 (6%)	4 (4%)	3 (10%)
40代	41 (14%)	13 (10%)	13 (13%)	10 (33%)
50代	38 (13%)	21 (16%)	10 (10%)	5 (17%)
60代	64 (21%)	28 (21%)	26 (25%)	3 (10%)
70代	58 (19%)	26 (19%)	29 (28%)	3 (10%)
80歳以上	13 (4%)	9 (7%)	14 (13%)	5 (17%)
無効・未回答	3 (1%)	1 (1%)	2 (2%)	1 (3%)

4. 現在の仕事、立場(複数回答有)

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
小学生	9 (3%)	8 (6%)	1 (1%)	0 (0%)
中学生	4 (1%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)
高校生	10 (3%)	6 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
大学生	6 (2%)	9 (6%)	2 (2%)	0 (0%)
就学者その他	5 (2%)	2 (1%)	1 (1%)	0 (0%)
会社・団体役員	36 (12%)	12 (9%)	7 (7%)	6 (20%)
常勤社員・職員	69 (23%)	28 (20%)	18 (17%)	7 (23%)
アルバイト・パート	19 (6%)	7 (5%)	7 (7%)	3 (10%)
個人事業主	25 (8%)	7 (5%)	9 (9%)	2 (7%)
専業主婦・夫	25 (8%)	22 (16%)	22 (21%)	2 (7%)
定年退職者	75 (25%)	24 (17%)	30 (29%)	8 (27%)
失業中	6 (2%)	1 (1%)	1 (1%)	0 (0%)
就業者その他	14 (5%)	7 (5%)	7 (7%)	2 (7%)
無効・未回答	3 (1%)	5 (4%)	0 (0%)	0 (0%)

* 割合は、端数処理のため合計が100%とならない場合がある。

1. 性別…複数回答は無効

2. 年代…複数回答、年齢不明は無効

5. 来館目的（複数回答有）

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
企画展/特別展 (博物館1階)	252 (80%)	49 (36%)	54 (50%)	15 (42%)
常設展 (博物館2階)	10 (3%)	29 (21%)	14 (13%)	4 (11%)
博物館での イベント	14 (4%)	4 (3%)	2 (2%)	2 (6%)
市民会館イベントで 立ち寄り	1 (0%)	5 (4%)	2 (2%)	2 (6%)
市民会館貸部屋利用 で立ち寄り	3 (1%)	4 (3%)	0 (0%)	1 (3%)
野田市内観光コース として訪問	14 (4%)	21 (15%)	25 (23%)	5 (14%)
その他	18 (6%)	18 (13%)	12 (11%)	4 (11%)
無効・未回答	3 (1%)	6 (4%)	0 (0%)	3 (8%)

6. 博物館来館回数

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
初めて	213 (71%)	79 (59%)	46 (44%)	8 (27%)
2回目	23 (8%)	10 (7%)	11 (11%)	2 (7%)
3回目	8 (3%)	6 (4%)	2 (2%)	2 (7%)
4回目	1 (0%)	4 (3%)	3 (3%)	3 (10%)
5回目	8 (3%)	5 (4%)	2 (2%)	1 (3%)
6回目	0 (0%)	0 (0%)	3 (3%)	0 (0%)
7回目	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
8回目	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (3%)
9回目	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
10回以上	45 (15%)	28 (21%)	36 (35%)	13 (43%)
複数回	1 (0%)	1 (1%)	1 (1%)	0 (0%)
未回答	3 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
無効	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

6. 博物館来館回数…「●回～▲回」、「●、▲回」等の記入は▲回に入れる／

「■回位」は■回に入れる／10回以上には「10数回」「15回以上」「20回」などを含む／複数回には「数回」「数十回」「数え切れない」などを含む

8. 開催を知った情報媒体…未回答は設問7で「はい」と回答した上で番号に○なし、()内に記述なしの件数

7. 企画展/特別展の開催既知

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
はい	232 (77%)	51 (38%)	49 (47%)	16 (53%)
いいえ	67 (22%)	77 (57%)	52 (50%)	14 (47%)
無効・未回答	3 (1%)	6 (4%)	3 (3%)	0 (0%)

8. 開催を知った情報媒体（複数回答有）

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
新聞	9 (3%)	3 (4%)	3 (3%)	1 (2%)
ポスター	41 (14%)	17 (21%)	14 (15%)	7 (17%)
チラシ	28 (10%)	14 (17%)	18 (20%)	6 (15%)
タウン誌	21 (7%)	11 (14%)	10 (11%)	4 (10%)
野田市報	20 (7%)	13 (16%)	13 (14%)	4 (10%)
ホームページ	30 (11%)	9 (11%)	10 (11%)	1 (2%)
友人・知人紹介	48 (17%)	10 (12%)	12 (13%)	3 (7%)
その他	86 (30%)	4 (5%)	10 (11%)	4 (10%)
無効・未回答	2 (1%)	0 (0%)	1 (1%)	11 (27%)

9. 企画展／特別展の内容はいかがでしたか

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
大変良かった	216 (72%)	75 (56%)	58 (56%)	15 (50%)
まずまず良かった	76 (25%)	44 (33%)	39 (38%)	11 (37%)
あまり良くなかった	1 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (3%)
悪かった	0 (0%)	2 (1%)	1 (1%)	1 (3%)
無効・未回答	9 (3%)	12 (9%)	6 (6%)	2 (7%)

○上記のように考える理由(回答の顕著な特徴)

【刀剣展】

- ・ 圧巻だった、展示の内容が豊かであった、大満足、というような、展示数の多さについての感想が多かった。
- ・ 多くの市民が日本刀を大切に保存しているのに感動しています、との意見があった。
- ・ 展示ケースやライティングによる見づらさ・見やすさについての指摘があった。
- ・ 実物を見ながら会員の説明を受けられて、鑑賞の仕方がよく分かった、勉強になったとの感想が多くみられた。

【あなたの野田展】

- ・ 野田の歴史を研究し、広めようとしているグループの存在とその活動を知ることができたとの意見があった。また、会の活動に興味が強まったとのことであった。
- ・ 活動の蓄積がよく分かり、すばらしいと思った。活動記録と一緒に地域の資料も見られて良かった。地元の歴史、古資料を丹念に調べることの重要性と役割に感謝、との感想がみられた。
- ・ 内容が少ししかなくわかりづらい、もっと資料展示があるかと思ったとの意見があった。

【郷土史展】

- ・ 博物館がいろいろな人の尽力で成り立っているんだと感じた、という意見があった。
- ・ 熱意のある人々の力があって博物館が出来たのがすごい、という意見があった。
- ・ 地味だが意義のある展示、という意見があった。

【生活文化展】

- ・ 昔野田に住んでいたので懐かしく思ったという意見があった。
- ・ 著名人が少ないという意見があった。

10. 印象に残った展示は何ですか(回答の顕著な特徴)

【刀剣展】

- ・ 全てすばらしいとの意見が多かった。
- ・ 古刀の展示、平安時代の作品に感動したとの感想があった。
- ・ 刀身と併せて拵が展示されていたこと。
- ・ 数が多く、印象に残らないとの意見があった。
- ・ 刀装具を分解して展示されていたのが印象に残ったとの意見があった。

【あなたの野田展】

- ・ 古文書の調査研究、史跡探訪、人車鉄道、下河岸、野田の地名などを挙げる意見が多かった。
- ・ 筆子塔についての展示が社会科の授業で学んでいたことだったので感慨深かった、との感想があった。

【郷土史展】

- ・ 正倉院御物摸写屏風などの樋口清之収集資料をあげる意見があった。
- ・ 函館の絵はがきをあげる意見もあった。

【生活文化展】

- ・ 野田音頭の音声や鈴木貫太郎夫妻の木像をあげる意見があった。
- ・ 会場内で公開していた収蔵品特別展示の東京オリンピック関係資料をあげる声があった。

11. 郷土博物館全般の雰囲気や居心地はいかがでしたか

	日本刀	あな野田	郷土史	生活文化
大変良かった	161 (53%)	64 (48%)	47 (45%)	10 (33%)
まずまず良かった	84 (28%)	34 (25%)	30 (29%)	12 (40%)
あまり良くなかった	3 (1%)	1 (1%)	4 (4%)	1 (3%)
悪かった	0 (0%)	1 (1%)	1 (1%)	1 (3%)
無効・未回答	54 (18%)	34 (25%)	22 (21%)	6 (20%)

○上記のように考える理由(回答の顕著な特徴)

【刀剣展】

- ・とても静かで落ち着いた雰囲気がよかったとの声が多く聞かれた一方、静かすぎて緊張するという意見もあった。
- ・必要な説明はありますが、という空気ですべて待機して下さっているスタッフさんの気遣いが有難く、心地よく鑑賞できたとの感想があった。
- ・庭や建物周辺の雰囲気が良いとの意見があった。
- ・座れるところがあってよかったとの声が多かった。

【あなたの野田展】

- ・古い落ち着いた、静かでゆっくり見られるとの声が多く寄せられた。
- ・展示物等が少なく、見ごたえがないとの意見があった。
- ・丁寧に説明して下さるスタッフの方がいてわかりやすかったとの感想があった。

【郷土史展】

- ・静かで落ち着いて観ることができた、という意見があった。
- ・受付の説明が丁寧だった、ボランティアの方が親切だった、という意見があった。

【生活文化展】

- ・静かでゆっくりとみられたという意見が多かった一方で、来館者の声がかかるという意見もあった。
- ・古い昭和の感じが良かったという意見があった。

12. 郷土博物館に求める機能・役割(回答の顕著な特徴)

【刀剣展】

- ・博物館までの道案内がなく、場所が分かりにくい、看板を設置してほしいとの意見が多数あった。
- ・維持運営のために有料でもよいのではという意見があった。
- ・考古遺物や関宿の資料のほか、市内の文化財の解説など、常設展示の充実を求める声が多く寄せられた。

【あなたの野田展】

- ・野田の街の魅力をもう少しアピールできるような工夫がほしいという意見があった。
- ・野田の歴史を学べるものであってほしいという意見や、若い方々にも知ってもらいたいとの意見があった。
- ・郷土を愛することを育む展示や企画、行事を今後もやってほしいとの意見があった。

【郷土史展】

- ・地元は勿論、近県との町のつながりを一層、充実してほしい、という意見があった。
- ・地域を知り学び活かす場、社会教育の拠点を求める意見があった。

【生活文化展】

- ・今後も郷土の顕彰を続けてほしいという意見があった。
- ・昔の暮らしを知ることという意見があった。